

平成19年度
教育委員会の事務の管理及び執行状況
に係る点検・評価報告書

平成21年3月
遠野市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	教育委員会活動の取り組み	1
	(1) 遠野市教育委員会委員名簿	1
	(2) 教育委員会議の開催状況	1
	(3) 教育委員会議の審議及び協議状況	1
	ア 教育委員会定例会・臨時会	1
	イ 教育委員会委員協議会	4
	(4) 教育委員会議以外の活動状況	4
3	教育委員会事務の実施状況と点検・評価	5
	(1) 政策別実施事業の成果と課題	5
	ア 健康づくりの推進	5
	イ ふるさと教育の推進	7
	ウ 生涯学習の推進	13
	エ ふるさとの文化の継承・創造	15
	(2) 行政評価(点検・評価)	17
	ア 行政評価の取組状況	17
	イ まちづくり指標(総合計画前期基本計画)の点検・評価	18
	ウ 事務事業の点検・評価	18
	エ 外部評価の結果	19
資料編		21
	資料1 平成19年度総合計画前期基本計画まちづくり指標実績一覧表	23
	資料2 平成19年度事務事業行政評価集計表	25
	資料3 平成19年度事務事業成果説明書	31
附属資料	遠野市立中学校再編成検討委員会協議経過及び答申書	67

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成20年4月1日）により、各教育委員会において、前年度の教育行政事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第1項の規定に基づくものであり、平成19年度の教育委員会活動を振り返るとともに、点検・評価にあたっては、既に点検・評価を実施し、議会への報告や公表がされている行政評価（遠野市総合計画前期基本計画のまちづくりと全事務事業の点検・評価）及び「地方自治法第233条に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」（平成20年9月提出）の教育委員会部分を整理して取りまとめたものである。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会活動の取り組み

（1）遠野市教育委員会委員名簿

（平成19年度在職）

職名	氏名
委員長	浅沼敬治
委員長職務代理者	似内宏和
委員	佐々木 るみ子
委員	角田直樹
委員（教育長）	及川増徳

（2）教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、教育委員会定例会（毎月1回）及び教育委員会臨時会を、平成19年度は合計で16回開催しました。

また、随時、教育委員会委員協議会を実施しています。

教育委員会定例会.....12回

教育委員会臨時会.....4回

教育委員会委員協議会...5回

（3）教育委員会議の審議及び協議状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「遠野市教育長に対する事務委任規則」第2条に規定する事務のうち、教育委員会定例会及び臨時会で審議した案件は、平成19年度は合計で32件です。

【議案の性質別件数】

分類	項目	件数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則・訓令の制定及び改廃	16
3	職員の人事に関すること	9
4	法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱	3
5	文化財の指定及び解除	1
6	表彰に関すること	1
7	その他	1
計		32

【平成19年度教育委員会議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
平成19年4月定例会				
15	遠野市奨学生選考委員会委員の任命の専決処理に関し承認を求めることについて	平成19年4月27日	承認	4
平成19年5月定例会				
16	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱の専決処理に関し承認を求めることについて	平成19年5月30日	承認	4
17	遠野市立中学校再編成検討委員会規則の一部を改正する規則の制定について	平成19年5月30日	可決	2
18	遠野市中学校再編成検討委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成19年5月30日	可決	7
平成19年6月定例会				
19	遠野市民センター管理運営規則（教育委員会）の一部を改正する規則の制定について	平成19年6月28日	可決	2
平成19年7月定例会				
20	遠野市学校給食運営審議会委員の委嘱の専決処理に関し承認を求めることについて	平成19年7月30日	承認	4
21	遠野市文化財の指定に関し議決を求めることについて	平成19年7月30日	可決	5
平成19年8月定例会				
22	平成19年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成19年8月31日	可決	6
平成19年9月定例会				
23	平成19年10月1日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成19年9月11日	可決	3
平成19年9月臨時会				
24	平成19年10月1日付け定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成19年9月20日	可決	3
平成19年11月定例会				
25	平成20年度における遠野市立小中学校教職員に係る定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	平成19年11月26日	可決	3
平成20年1月定例会				
1	平成20年4月1日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成20年1月31日	可決	3
2	遠野市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年1月31日	可決	2

議案番号	件名	提出日	決議	分類
平成20年2月定例会				
3	平成20年度遠野市教育行政推進基本方針に関し議決を求めることについて	平成20年2月12日	可決	1
平成20年2月臨時会				
4	平成20年度教職員定期人事異動の内申について	平成20年2月28日	可決	3
平成20年3月臨時会				
5	平成20年度教職員定期人事異動の内申の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年3月14日	承認	3
6	平成20年度定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成20年3月14日	可決	3
平成20年3月定例会				
7	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
8	博物館登録に関する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
9	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
10	遠野市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
11	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
12	遠野市立学校施設使用に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
13	遠野市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
14	遠野市民センター管理運営規則（教育委員会）の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
15	遠野市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
16	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
17	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
18	遠野市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
19	遠野市教育委員会通学バス運行管理規程の一部を改正する訓令の制定に関し議決を求めることについて	平成20年3月19日	可決	2
平成20年3月臨時会				
20	平成20年度定期人事異動（教育機関の職員）の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年3月25日	承認	3
21	平成20年度定期人事異動（教育機関の長等）に関し議決を求めることについて	平成20年3月25日	可決	3

イ 教育委員会委員協議会

主要な施策や事業等については、その状況や内容を報告・説明し、協議を行いました。平成19年度は合計で9件です。

番号	件名	協議日
1	教育基本法の改正について	平成19年5月30日
2	綾織小学校改築について	平成19年10月31日
3	保育園保育料・幼稚園保育料の改定(案)について	平成19年11月26日
4	国の文化財審議会から「遠野荒川高原牧場」を国の重要な文化的景観とする答申が出された事について	平成19年11月26日
5	綾織小学校改築基本方針について	平成19年11月26日
6	平成20年度主要事業予算要求について	平成19年12月21日
7	平成20年度主要事業について	平成20年2月12日
8	市民センター使用料等の見直しについて	平成20年2月12日
9	遠野市総合食育センター整備運営事業について	平成20年2月12日

(4) 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問、中学校再編成検討委員会、各種行事等に出席しました。

市議会

- ・本会議(委員長、教育長)
- ・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会(教育長)

学校訪問

- ・学校懇談会(6月...遠野小学校、11月...遠野中学校)
- ・学校公開研究会(10月...鱒沢小学校)
- ・遠野旬を食べよう給食(6月、8月、10月、12月)

中学校再編成検討委員会

- ・遠野市立中学校再編成検討委員会(6月～3月 計14回)
- 岩手県市町村教育委員会協議会等関係団体
- ・岩手県市町村教育委員会教育長会議(4月)
- ・岩手県市町村教育委員会協議会総会(5月、2月)
- ・岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会会議(10月)
- ・岩手県市町村教育委員会協議会委員長部会会議(11月)
- ・岩手県市町村教育委員会協議会委員研修会(2月)
- ・東北都市教育長協議会定期総会及び研修会(4月)
- ・全国都市教育長協議会定期総会(5月)
- ・東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会(7月)等

各種行事

- ・教育委員会定期人事異動辞令交付式(4月、10月)・小中学校教職員着任式(4月)
- ・小中学校入学式(4月)・市立小中学校長及び教頭合同会議(4月)
- ・教育委員会勤続功労者表彰式(10月)・中高生と語る会(11月)・教育研究所発表会(1月)
- ・特別支援教育研究所卒業進級を祝う会(2月)・小中学校卒業証書授与式(3月)
- ・小中学校教職員退職者及び管外異動者に対する辞令交付式(3月)
- ・教育委員会退職者辞令交付式(3月)等

その他の行事

- ・遠野市市制施行2周年記念式典(10月)
- ・遠野市教育文化振興財団顕賞式及び遠野市体育協会栄賞表彰式(1月)
- ・消防出初式(1月)・成人式「はたちのつどい」(1月)等

3 教育委員会事務の実施状況と点検・評価

教育委員会では、平成18年9月に策定した本市行政の基本方針である「遠野市総合計画前期基本計画」に基づき、教育行政を推進してきました。

下図で示す「遠野市総合計画前期基本計画」の体系において、教育委員会が関わる大綱及び政策は2つの大綱と4つの政策になっています。

各政策ごとに、平成19年度おける実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画前期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり	
	2 快適な居住環境の形成	
	3 道路交通基盤の充実	
	4 安全安心な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 (スポーツ)
		2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
3 子育て支援の推進		
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興	
	2 商工業の振興	
	3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実
		2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実
		2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用
		2 文化財の保存と継承
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり	
	2 行財政基盤の強化	
	3 行政サービスの向上	

(1) 政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

総括

子供から高齢者まで市民のだれもが身近なところでいつでもスポーツ活動ができるようにするため、市民センター体育施設をはじめ学校体育施設の開放やスポーツ教室、市体育協会と連携による各種市民大会の開催など生涯スポーツの推進及び普及・振興に努めた。

市民の健康づくり活動では、「健康と交流」をキーワードに、保健・生涯学習・スポーツが連携を図り健康づくり総合プログラムを策定、「健康づくり総合大学」を立ち上げた。市

民センターを本校、各地区センターをサテライト校と位置づけ、地域における健康スポーツ教室や講座等を開催し市民への健康づくり活動の推進に努めた。また、大学開校イベントとして市民総参加による「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催した。

子どもの体力づくりでは、文科省委託による子どもの体力向上実践事業（H16～H18）3カ年の取り組みにより運動能力は向上傾向にあり、継続的に早寝・早起き・朝ご飯、チャレンジ徒歩通学、小学校における走り方講習会等を実施し、子どもの生活習慣の改善や体力向上に努めた。また、キッズ元気アップ応援隊による就学前児童への体力、運動能力アップに努めた。

競技力向上では、ジュニアスポーツのレベルアップを図るため、経験豊かな指導者やトップアスリートを招き、本市のシンボルスポーツであるサッカーや野球等のジュニアレベルアップ事業やバレーボールのスポーツリーダー養成塾を開催し、競技力向上や指導者養成・育成に努めた。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
健康づくり活動の推進		
健康スポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり総合大学開校 本校＝市民センター、サテライト校＝地区センター 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催。市民総参加、地域で主体的に取り組みを行った。 保健、生涯学習、スポーツが一体となった健康づくり総合プログラムによる健康づくり事業を展開した。 	参加したくてもできない人、参加していない人への周知、啓発、参加促進が課題。
地域健康づくりプログラム推進事業（総合型地域スポーツクラブの推進）	<ul style="list-style-type: none"> 地域独自の健康づくりプログラムを策定し、健康教室や講座を実施した。 各地域の総合型地域スポーツクラブへの支援策として、講師派遣やスポーツ用具の提供を行った。 宮守町総合型地域スポーツクラブを設立し、健康づくりやジュニアスポーツ活動を実施した。 	ヘルスプロモーションや健康スポーツの普及を図るとともに、スポーツクラブ会員の確保・増員が課題。また各地域における健康づくりの大切さや気運を高め、市民協働による取組みの推進。
子どもの体力づくりプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上実践事業による早寝早起き、朝ご飯、チャレンジ徒歩通学等、3カ年の取り組みにより、体力や運動能力は向上傾向、生活習慣においても改善傾向にある。 就学前児童を対象に運動能力アップや体力向上教室を実施した。 	子どもの体力向上のため、学校、地域、保護者、行政等が連携しての取組みの推進が課題。
スポーツ振興		
競技イベントスポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会やスポーツ少年団等と連携し各種スポーツ大会開催や競技力向上に努めた。 遠野じんぎすかんマラソンを開催し、マラソン普及はもとより、市街地の活性化や観光、物産振興に努めた。 大府市スポーツ少年団交流（指導者5名、団員25名派遣）を実施した。 	遠野じんぎすかんマラソンにおける参加者の増員が課題。検証、反省、おもてなしの強化、PRが重要。

ジュニアレベルアップ及びスポーツリーダー養成プログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 少年野球、サッカーによるジュニアレベルアップ事業を実施し、競技力向上に努めた。 バレーボールやテニスの指導者を招きスポーツリーダー養成塾を開催し、競技力のレベルアップや指導者育成に努めた。 	ジュニアスポーツの競技力向上に向け、学校スポーツと社会スポーツとの連携・強化が課題。
---------------------------------	---	--

イ ふるさと教育の推進

(ア) 就学前教育の充実

総括

遠野市宮守町内の幼稚園・保育所は人間形成の上で大きな影響をもつといわれる幼児に対し、発達段階に応じた環境を与えるため、それぞれの機能を大切にしながら、機能を分断する事なく、相互にそれぞれの長所を取り入れ補完しあいながら、保育所児及び幼稚園児の年齢毎の保育・教育プログラムを作成し、運動環境等に配慮しながら、地域の実情に即した幼児教育を目指した。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
幼児教育・保育の向上	宮守町内老人施設及び身障施設への訪問、町内高齢者との交流、中学生・高校生の体験学習・ボランティアの受け入れにより、園児・生徒の情操教育の向上、世代間交流が図られた。	交流には、訪問そして受け入れとも、時期、感染症の有無等の事前調査等配慮要する。
	幼小連携については園児と小学生との交流も行った。又、小学校教師と幼保園教諭等がお互いに保育参観・授業参観を行い、情報交換を行うことにより就学前教育のあり方等を把握し、小学校入学後の児童指導につなげることが出来た。	今後も就学前教育のあり方、指導の方向性、気になる子ども等について学校側とよく協議・情報交換する場を設け、連携を図りたい。
	キッズ運動教室を開催し、遊びをとおして体を動かすことの楽しさを教えた。さらに、親子対象の運動教室を開催し、親子のふれあいの場を設けた。	体力向上までには、定期的な開催を要する。 家庭にも拡大し、親子で楽しむ運動環境作りが必要。
	食育については、家庭菜園の実施、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児への食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。	親の意識向上が問題だが、保育所の指導だけでは限界がある。中高生の頃から食事の大切さの教育重要。
	幼児教育に携わる教諭・保育士の質の向上を目指し、岩手県立大学社会福祉学部にて協力を依頼し、年間を通して保育研究・ミニ公開保育を行い、教諭・保育士の意識改革につながった。	教諭・保育士の環境構成、指導のあり方等についてもっと深く研究する必要がある。
子育て支援の充実	緊急あるいは断続的に保育が困難な場合等に、保育所で幼児を受け入れる一時保育事業を実施することにより、家庭からの保育ニーズに応えた。	急増する保育ニーズに 応えるには対応が難しい場合がある。(出張・研修が重なる場合など)

	在宅親子に対し園庭解放を行い、カンガルー教室も月2回受け入れ、宮守町における在宅親子の集い・交流の場を作った。遊びの指導、保育の相談を実施することにより、子育て支援を図った。	今後も各保育所を利用した交流の場を作り、在宅親子の支援を図る必要あり。 園庭解放等のPRを行い、多くの親子を対象としたい。
保育教育環境の整備	宮守幼稚園・保育所トイレの下水道接続工事を行なった。この整備により、子どもたちの保育環境が改善された。 また、園庭全ての遊具の安全点検を行った。	遊具の安全点検結果を元に早急に修繕を行いたい。 各幼稚園保育所の短期・長期環境整備計画の立案を要する。
芸術・文化活動	児童健全育成事業を利用し、みやもりホールを会場に子どもの城児童合唱団コンサートを上演し、児童クラブと市内幼保園の子どもたちが楽しく鑑賞することが出来た。	優れた音楽等に直接ふれる機会を与えることは児童の情操教育につながるが、その機会を確保するよう努めたい。

(イ) 教育内容の充実

総括

「生命と心を育む教育」の具現を目指し、「学習や生活の基礎力の定着」「個性と能力の伸張」「心の教育の充実」を図るために、各学校と共通理解と連携のもとに、教育委員会関係の事業を積極的に推進してきた。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
学力向上		
学力向上対策会議	校長を対象に2回開催した。各校の実態と課題に即した年間の「計画 実行 評価 補強・修正・補充」のサイクルによる学力向上策が定着しつつある。	・教頭職の研修 ・主任層の意識啓発
教育研究所	教科指導の課題及び特別支援教育の充実を図るための学校に還元できる実践的な研究を行い、研究発表会でその成果を還元した。	・各校における研究成果の活用における教育実践の充実
NRT調査と学習定着度状況調査(学調)の実施	NRT(4月)実施、学調(国:4月、県:10月)により、各教科の学力実態の把握に基づく補充指導が行われ、基礎基本の定着を図る一助となった。	・全体の取組に課題がある学校へはたらきかけ
学校教育専門員派遣事業・指導主事の派遣	各校の要望に応じて学校教育専門員を79回、指導主事を92回派遣し、授業力向上及び校内研究の充実が図られた。	・授業力、実践意欲の向上
教育研究指定校事業	鱒沢小学校の算数科の学校公開、遠野北小・遠野中学校の研究指定により、対象校の学力向上及び指導力向上への課題意識が高まってきた。	・指導主事、学校教育専門員との連携による学力向上

教師の指導力向上事業	教職3年次研修では授業研修により、指導力向上に努めた。中学校図書館担当者研修会を8月に実施。実践交流及び講師の講義により中学生の読書活動の推進を図った。	・教師の資質を高める研修の設定
心の教育		
相談員活用調査研究事業	「子どもと親の相談員」「心の教室相談員」「学校適応相談員」「スクールカウンセラー」「研究所の相談員」配置事業により、心の問題への早期発見、早期対応ができた。	・学校体制に見合う相談体制の充実と保護者への啓発
特別支援教育への理解及び適正な就学指導の推進	関係機関（分教室、保育園・幼稚園、保育協会、福祉の里）と連携を図り適正な就学指導の実施を心がけた。 ・知能検査講習会・情報交流	・上半期における就学相談の充実と計画的な就学指導
幼稚園・保育園・小学校交流会	幼保小の教員、保育士計25名の参加により共通課題を確認し、啓発資料の作成と活用を図った。	・継続的な啓発
開かれた学校づくり		
外国人講師招聘事業	中学校8校 393回、小学校11校65回の派遣を行い、英語力の向上及び国際理解教育の充実が図られた。	・中学校の英語授業における効果的な活用
文化行事奨励事業	作文（応募点数小学校121点、中学校50点）・書写書道（小学校129点、中学校90点）・絵画（小学校194点、中学校90点）の応募があり、教師の指導力および児童生徒の技能の向上を図るための活動と交流ができた。	・各校の指導を充実させるための機会設定
特色ある学校づくり	遠野市内全小・中学校で実施し、前年度の活動をさらに充実させることができた。郷土芸能（9校）郷土理解学習（18校）農業体験（8校）などが実施され、児童・生徒の郷土への理解と愛着を深めた。	・「総合的な学習の時間」の年間指導計画の見直し
学校懇談会	遠野小と遠野中で実施。学校の取組状況について、教育委員会関係者と学校が情報交流する貴重な場となった。	・諸課題の把握と改善への働き掛け
ふるさと学校体験留学	受入人数（21名）及び受入校（4校）を増やして実施し、交流の充実を図った。	・体験の充実と関係校との連携による受入準備
学校評価	今年度から市内小中学校における学校評価を本格的実施した。内部評価・外部評価を実施し結果を公表した。	・評価表の改善と実施後の学校側の活用と公表

(ウ) 教育環境の充実

総括

少子化による児童生徒の減少が続く中、望ましい中学校の再編成を検討する中学校再編成検討委員会を設置し、具体的な検討を始めるとともに、綾織小学校の改築にあたっては、中学校を活用して小学校・保育園・児童館の子育て機能や高齢者の活動の場・地域スペースの世代を超えた一体的な環境を整備する学びのプラットフォーム構想に着手することができ、時代の変化に的確に対応した学校のあり方、適正化の推進に前進が図られた。

また、児童生徒が安全で安心でき、個性と能力を發揮できる学習環境の向上を目指し、施設整備、通学対策、教育費の支援等に継続して取り組んだ。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
中学校再編成の検討		
中学校再編成の検討	<p>少子化による生徒の減少が続く中、望ましい中学校の再編成を検討するため、6月4日に諮問機関として中学校再編成検討委員会（委員27名）を設置。14回に及ぶ検討会議を経て、平成20年3月28日、学校数、学区、校舎設置位置、校名、再編成時期について答申を受ける。</p> <p>中学校再編成の検討にあたっては、14回の検討委員会の開催の他に、各町区長説明会、各町PTA説明会を開催し、出席者から意見、提言等を伺った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町区長説明会 8月1日～8日（9回開催、出席者数83名） 各町PTA説明会 9月4日～10月3日（11回開催、出席者数179名） 	<p>検討委員会の答申を踏まえ、計画原案の作成に取り掛かることになる。</p> <p>市民懇談会等の市民合意を得るための十分な対応が重要である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>附属資料として 「遠野市立中学校再編成検討委員会協議経過及び答申書」を添付</p> </div>
学校施設の整備		
上郷小学校改築整備事業	<p>旧屋内運動場の解体工事、外構工事等を実施し、上郷小学校改築整備事業のすべてが完了した。7月7日に落成式が行われ、教育環境の充実が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上郷小学校旧屋内運動場解体工事等（事業費17,073,000円） 	
遠野北小学校整備事業	<p>老朽化に伴う遠野北小学校校舎の大規模改造について、学校、PTAとの協議を重ねながら、実施設計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠野北小学校大規模改造工事实施設計業務（事業費9,450,000円） 	<p>20、21年度で大規模改造工事を行う。また20年度に体育館改築の実施設計を行う。</p>
綾織小学校改築整備事業	<p>市の中学校を活用した「学びのプラットフォーム構想」と地域の単独改築要望において、10回にわたる協議を進めてきた結果、12月18日、市の改築案に地域からの同意を得た。</p> <p>少子高齢社会の流れの中、子どもから高齢者まで世代を超えて集う一体的な環境整備を図る学びのプラットフォーム構想がスタートした。</p> <p>綾織小学校改築にかかる基本構想策定業務及び敷地測量業務（18年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本構想5案の作成。 事業費1,772,400円 <p>綾織小学校改築基本計画・基本設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内建築設計3社共同の「遠野教育環境企画共同企業体」による受託。 予算額5,700,000円。20年度に繰越。 	<p>基本計画・基本設計の作成にあたっては、地域との協議、理解を十分に深めるとともに、中学校を活用して小学校・保育園・児童館の子育て機能や高齢者の活動の場・地域スペースの一体的な整備を図るものであることから、福祉課等他課との連携が重要となる。</p>

小学校施設耐震補強事業	18年度実施した耐震診断の判定結果に基づき、遠野小学校校舎、鱒沢小学校校舎、土淵小学校屋内運動場の耐震補強設計を行う。 ・予算額 6,150,000円(12月補正)、20年度に繰越。	耐震補強設計の第三者機関の判定後において全体整備計画を作成する必要がある。
奨学資金の貸付		
育英事業（貸付）	経済的な事由により修学困難な優秀な生徒・学生86名に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。 ・継続分58人、・新規大学生分 23名 ・新規高校生分 5名 (決算額 37,860,000円)	奨学金返還金の著しく公正を欠く滞納者には厳しい措置で対応する必要がある。 ・19年度末滞納額 4,783,200円(34人)
通学対策の充実		
通学対策費	遠距離通学児童生徒のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、交通機関利用や徒歩の遠距離通学児童生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 小学校 ・通学バス等運行委託料 バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス(決算額 17,345,907円) (決算見込額16,793,000円) ・遠距離通学費補助金(通学距離4km以上)41名(決算額 290,400円) 中学校 ・通学バス等運行委託料 バス3台(決算額 6,300,525円) ・遠距離通学費補助金(通学距離6km以上)38名(決算額 273,600円)	試行段階のデマンド交通システムの検証後においては、スクールバスの有効活用について検討を要する。
教育費の支援		
子育て支援事業	私立幼稚園に就園する第3子以降園児の保育料を無料化することで、経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境をつくることに寄与した。 ・光の園幼稚園12名、聖光幼稚園5名 計17名(決算額1,673,434円)	20年度から保育料の全体的な軽減を図ることを目的に、第3子以降児に一部有料化が生じるも、第1子、第2子軽減される子育て支援施策が施行される。
私立幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園就園者の保護者の所得状況に応じて、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼稚園教育の振興に資した。 ・光の園幼稚園55名、聖光幼稚園44名 計99名(決算額 7,990,115円)	

就学援助費	<p>経済的理由により、就学困難な児童生徒の世帯に対して、学用品費、給食費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生105名（決算額 6,723,548円） ・中学生 78名（決算額 8,316,641円） 	
地域教育の振興		
地域教育文化振興事業	<p>学校・家庭・地域社会における教育の充実を地域ぐるみで実践する各町地域教育協議会の活動により地域教育の振興に努めた。また、地域教育協議会連絡会を開催し、情報交換及び活動支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町地域教育協議会への運営補助金 ・地域教育協議会連絡会 3回開催 ・宮守町への地域教育協議会設置に係る懇談会 3回開催 	<p>宮守町への当協議会設置と設置後の取り組みの支援を図る。</p> <p>また、子育て環境整備の支援施策として地域教育協議会の更なる活動の充実が必要である。</p>

(工) 学校給食の充実

総括

子ども達が豊かな人間性を育み生きる力を身につけていくためには「食」が重要であり、遠野の四季折々の変化や食べ物の旬のおいしさを味わう「遠野旬を食べよう給食」や「栄養職員の学校訪問」を通し、食育の推進に取り組んだ。

また、通常の給食に地場産農産物の食材を多く取り入れ「地産地消」に努めた。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
「食育」「地産地消」給食の推進	<p>学校給食事業では、栄養バランスのとれた給食の提供を行い、季節感のある給食の提供ができた。</p> <p>また、遠野産の農産物を多く取り入れ消費拡大を図り、地場産物使用割合を高めた。(目標27.0% 実績33.5%)</p>	冬期間の地場産食材の確保が難しい。
	<p>ふるさと食材給食事業では、児童生徒が学校栄養職員や農産物生産者等との交流を通し、食事のマナーや地域の食文化、農産物の理解など「食育」を推進した。</p> <p>年4回の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 土淵小学校、達曽部小学校 ・8月 上郷小学校、宮守中学校 ・10月 遠野北小学校、宮守小学校 ・12月 綾織小学校、鱒沢小学校、 	
学校訪問及び栄養指導の推進	<p>学校と連携を密にし、学校栄養職員による食育、栄養指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野学校給食センター 各学校年2回 学校訪問30回 ・宮守学校給食センター 各学級年1回 学級訪問23回 	
総合食育センターの整備	<p>老朽化している両学校給食センターを統合し、施設の有効活用と地産地消の拠点としての総合食育センターを整備するため、事業の調査と組立てを検討した。</p>	

ウ 生涯学習の推進

総括

男女共同参画社会の推進については、地方自治法施行60周年の記念事業とあわせて女性団体連絡会議の構成7団体による仮想「と・お・の市議会」を開催した。女性団体相互の理解、市政への参加の促進が図られた。

また「ハートフルステージ～音楽で「人権」を考える集い～」などの開催、子育てサポーター養成講座への市民派遣などを実施した。

「家庭教育の充実」に関しては、すこやか子育て教室及び家庭教育ゼミナールを実施し、家庭教育に関する学習の機会をつくることができた。

「生涯学習推進体制の確立」については、広報遠野「学びのいずみ」の充実を図り、定期的に学習情報の提供を図る他、市民協働企画私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」や芸術文化協会の「出前講座」など市民と協働で講座を開催した。

自主事業として演劇やコンサートなどを開催し、広く市民に芸術文化を鑑賞する機会を提供することができた。

市民芸術祭、遠野物語ファンタジーなどの開催や、遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の運営推進を図るなど、市民の芸術文化活動の促進に寄与することができた。

また、旧市村の芸術文化協会が合併し新たに遠野市芸術文化協会が設立され、新体制のもと活発な事業展開が図られた。

少年の非行防止・環境浄化活動を推進する少年委員を中心に活動するとともに、地域が一体となった不健全図書自動販売機の撤去運動に取り組むなど、地域・学校・行政が連携して運動を展開した。

ふるさと発見探偵団、囲碁将棋教室、遠野こどもまつり等、子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が連携して活動する大切さを浸透する活動の必要性を感じた。

家庭学習の習慣が身につけていないことや子どもが家庭学習の仕方が分からないなど、課題解決に向けて関係機関・団体との連携のもと、「教育振興運動モデルプログラム」に取り組んだ。また、児童館（児童クラブ）や小学校の空き教室の一室を利用し、子ども達の安全で健やかな居場所を確保しながら、家庭学習の習慣づけにむけた「放課後子ども教室」を4箇所において実施した。

成果と課題

目 標	成 果	課 題
社会教育事業の充実	地方自治法 60 周年記念事業として女性7 団体が連携し「仮想と・お・の市議会」を開催して、男女共同参画社会の推進とプランの普及啓発を図ることができた。また遠野人権擁護委員協議会と連携し、人権の大切さについて学ぶ機会を創ることができた。 人材育成としては、子育てサポーター養成講座へ2 名、男女共同参画サポーター養成講座へ1 名派遣することができた。 家庭教育の充実としては、地域子育て支援センターと連携し、「すこやか子育て教室」を実施し、就学前の子を持つ親の学習機会を作ることができた。また、「家庭教育ゼミナール」では、PTA等を対象に学	・プランの普及啓発と出前講座の拡大 ・学級講座、研修会等に参加したことのない方々への普及拡大

	<p>習機会を作ることができた。</p> <p>また、地域で子どもを育てる活動発表会の機会を利用し、家庭教育講演会を開催した。多くの参加者を得て、学習機会の少ない層へ学びの場を提供することができた。</p>	
生涯学習推進体制の確立	<p>市民センターと地区センターが連携し生涯学習講座の実施、学習機会の提供ができた。広報遠野「学びのいずみ」により効率的に学習情報を提供することができた。</p> <p>また、市民協働企画 私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」を立ち上げ、市民と協働で学習機会を創出できた他、サークルの誕生、講師を務めた団体の活性化など成果があり、また講座経費がかからない講座も実施でき、予算節減効果もあった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの把握と内容の充実 ・市民が年間計画を立てやすいよう、できるだけ年度当初に多くの学習情報等の提供ができること。 ・定期的、継続的に学習機会を創ること。
芸術文化の振興	<p>自主事業として、みやもりホールでは、因幡晃アコースティック・コンサート2007を、市民センターでは、わらび座ミュージカル「義経 - 平泉の夢」と松竹特別公演「PETER vs 池畑慎之介」を開催し、市民に広く芸術文化を鑑賞する機会を提供することができた。</p> <p>遠野市民センターバレエスタジオは開設30周年を迎えたことから、実行委員会を組織し、記念公演を開催するとともに記念誌を作成した。公演では、プロのダンサーを招くとともに地元の音楽団体の生演奏により創作バレエ「おしらさま」を上演した。遠野少年少女合唱隊は結成20周年を迎えたことから、社会人合唱団を招き3部構成による記念発表会を開催した。バレエ、合唱隊ともに活動を通し、子供たちの情操教育等に寄与することができた。</p> <p>遠野物語ファンタジーでは、各世代からキャスト、スタッフに多数の参加があり、市民協働による公演を開催することができた。また、小学校高学年を対象に青少年劇場を開催、青笹小学校では本物の舞台芸術の鑑賞の機会を設け、優れた芸術に触れる機会の提供に努めた。</p> <p>市民芸術祭実行委員会を組織し、合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展を開催し各種団体等が日ごろの練習の成果を披露する機会を確保することができた。また、小中高学校の吹奏楽部等に参加を呼び掛けた結果、舞台合同発表会への参加が増え、内容の充実が図られた。</p>	<p>自主事業を実施する際は、住民ニーズ等を的確に捉え、広く宣伝活動を行い、より多くの方に鑑賞していただくよう努める必要がある。</p> <p>バレエスタジオ、合唱隊は、運営面において効果的な活動を展開できるよう、生徒の確保に努める必要がある。また、定期的に創作バレエの公演をする必要がある。</p> <p>市民芸術祭においては、今年度から学校に音楽部門への参加を求めた結果、出演団体、入場者とも増えたが、音楽祭の入場者が少なかったことからPR方法等を検討する必要がある。</p> <p>遠野物語ファンタジーでは、今後も多くの市民の参加ができる体制を維持していく必要がある。</p>

<p>青少年の健全育成</p>	<p>少年センターを中心に関係機関、団体・地域と連携し、「地域の子は、地域で守る」を念頭に運動を展開しながら、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。</p> <p>少年少女ふるさと発見探偵団及び囲碁・将棋教室など余暇の過ごし方を利用した有効的な活動が求められているため、本事業はこれらの課題に対応するとともに、家庭単独ではなかなか設定できない体験活動を提供し、世代間での交流も図りながら、子ども活動サポーターなど新しい時代を担うリーダーの育成が図られた。</p> <p>放課後子ども教室を設置し、「遊ぶ前にまず宿題」の声かけを行い、自主学習や家庭学習の習慣づけを図った。</p> <p>「地域で子どもを育てる活動発表会」を開催し、地域の教育力の向上のため、児童生徒の多様な体験活動、文化活動の機会を提供するとともに、学校・PTAに限らず、地域の多様な人々の協力を得られた。</p>	<p>地域での児童生徒の体験・奉仕活動の機会を、より多くの住民の参加で実施し、更に指導者の育成も図る。</p> <p>住民全体に非行防止や環境浄化の意識を広め、青少年の健全育成を図る必要がある。</p> <p>放課後子ども教室を実施するうえで、市内全校を対象にする場合、学習アドバイザーなどより多くの人材確保が必要である。</p>
-----------------	--	---

エ ふるさとの文化の継承・創造

総括

市民の学習ニーズの多様化に対応し、文化教養施設としてその機能の相乗的発揮に努めるとともに、郷土の歴史・文化の発掘と保存及び伝承文化の調査・記録に努めた。

成果と課題

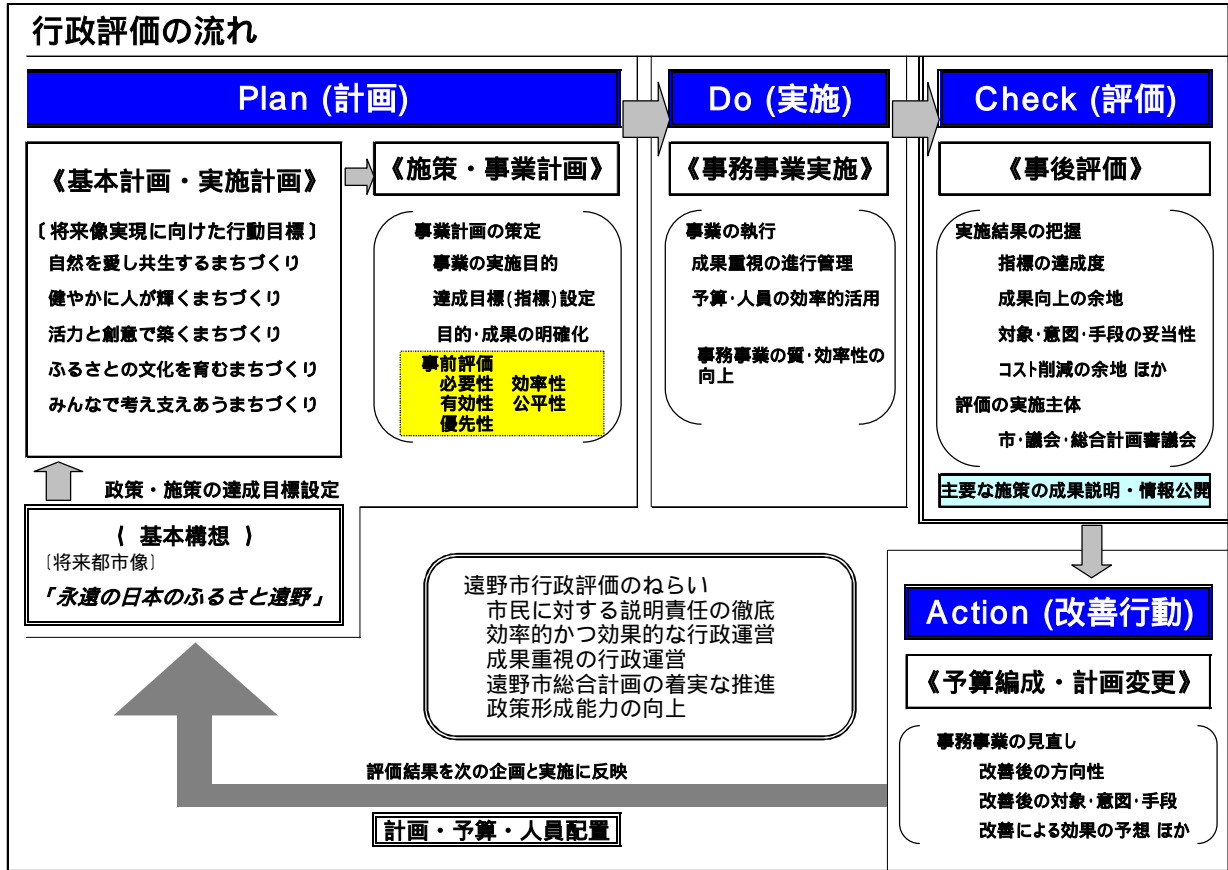
目 標	成 果	課 題
文化財保護活動	<p>文化財については、文化財調査を行い基礎資料とした。郷土芸能では、発表の場の確保及び道具類の整備等保存団体への支援を行った。</p> <p>埋蔵文化財では、栃洞遺跡の室内整理・報告書を作成及び宮守地区埋蔵文化財分布調査を実施した。</p> <p>国指定史跡「綾織新田遺跡」の整備活用基本設計素案について協議・検討した。</p> <p>市指定文化財「千葉家の曲り家」については、必要書類を整え、国指定重要文化財の指定を受けた。</p> <p>国の登録文化財にふるさと村の民家2棟を追加登録した。「仙台屋」を調査し登録手続きを行った。</p> <p>遠野遺産認定制度を立上げ、53件を認定した。</p> <p>国の重要文化的景観として荒川高原牧場の申出を行った。追加申出箇所保存調査を実施した。</p>	<p>文化財の適正管理・調査 伝統芸能の掘り起しと後継者確保</p> <p>基本設計の内容検討と 実施計画の検討 国指定後の保全・管理・ 運営方法</p> <p>追加登録物件の情報収 集</p> <p>啓蒙普及</p> <p>第二段となる山口集落 の保存調査の実施。</p>
図書館活動	<p>「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、具体的な取り組み事業を実施した。また、市民サービスの充実を図るため図書館のコンピュータシステムの整備</p>	<p>「遠野市子ども読書活動推進計画」により、関係機関・団体が連携協力して効果的に事業推進</p>

	<p>に努めた。</p> <p>施設貸出文庫、図書館教室、調べ学習のための資料貸出など、学社連携による読書活動を推進した。</p> <p>視聴覚教育の普及については、映画会の開催、ビデオソフト教材の購入、機材の整備保存に努め利用に供した。</p> <p>遠野物語研究所事業については、郷土史を学習する各種教室や『遠野物語』ゼミナールの開催により文化活動の活性化に努めた。</p>	<p>を図る必要がある。</p>
博物館活動	<p>特別展「ザシキワラシ」を開催した。また特別展「伊能嘉矩と台湾研究」を館内と「とぴあ」で開催した。</p> <p>冬の特別展「遠野遺産展」を開催し、遠野遺産制度、市民協働による保護・活用活動の事例を中心に、遠野市の文化財を守る仕組みについて紹介する。</p> <p>市民を対象にした博物館講座を開催し、郷土学習機会を提供した。また児童生徒を対象にした「博物館教室」を開催し学校教育との連携を図った。</p> <p>展示第2室「遠野の四季」コーナーの退色した写真盤面を交換し、新たに宮守町の植物も取り入れ、展示のリフレッシュを図った。また、3月に博物館展示室リニューアルの展示基本計画を策定した。</p>	<p>博物館は開館後 28 年を経過しており、展示による新たな魅力の創出を図る必要がある。また、施設の老朽化への対応が必要となっている。</p> <p>収蔵資料及び寄託資料の増加、また、収蔵庫の老朽化が著しい。資料の安全な保管のため、収蔵施設の整備が必要である。</p>

(2) 行政評価(点検・評価)

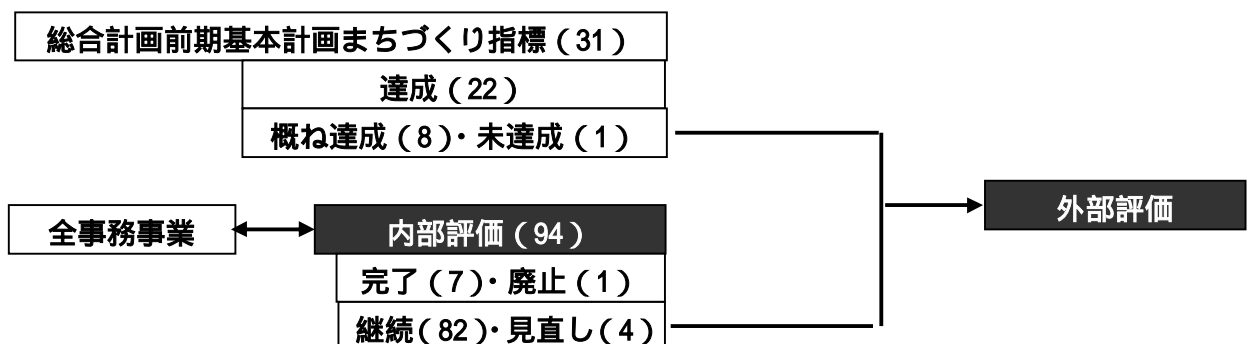
ア 行政評価の取組状況

行政評価は、全事務事業を対象とし、平成19年度は、468事務事業(教育委員会部分は94事務事業)の行政評価を行いました。



また、平成18年9月に策定した「遠野市総合計画前期基本計画」では、市民主体の視点に立った行政運営を進めるため、計画の進捗状況を分かりやすく数値で示した148のまちづくり指標(教育委員会部分は31のまちづくり指標)を、最終年度を平成22年度として、年度ごとに段階的に目標値を設定し、達成状況を毎年度公表することにしています。

このことから、行政評価の外部評価にあたっては、総合計画前期基本計画まちづくり指標の平成19年度達成状況が「概ね達成」または「未達成」の中から、その実績結果に直接的に影響すると思われる事業で、かつ遠野市行政評価推進本部会議での内部評価の結果が「継続」または「見直し」の判定となった事業の中から選定し、遠野市総合計画審議会において行政評価を行いました。



【内部評価機関】

遠野市行政評価推進本部

…市長、副市長、教育長及び部長等で組織

【外部評価機関】

遠野市総合計画審議会

…市民、関係機関団体の役員又は職員及び識見を有する者25人以内の委員で組織

【取組状況】

年月	実施内容	備考
平成20年5月	平成20年度行政評価取組方針の決定	
6月	平成20年度行政評価取組方針の周知	
	行政評価実施に係る職員説明会	
7月	行政評価調書作成	各課提出
8月	行政評価調書結果集計	
9月	第1回行政評価推進本部会議	一次評価結果、二次評価の実施
10月	第2回行政評価推進本部会議	二次評価の確認・検討等
11月	遠野市総合計画審議会での外部評価	

イ まちづくり指標（総合計画前期基本計画）の点検・評価

評価は、目標の達成状況に応じて、達成・概ね達成・未達成に3区分しています。

目標を達成していない指標については、19年度目標値に対する実績値の割合で達成率を算出し、90%以上を概ね達成、90%未満を未達成としています。

【平成19年度教育委員会まちづくり指標総括表】

項目	18年度				19年度			
	指標数		率(%)		指標数		率(%)	
まちづくり指標数	31				31			
達成	19	29	62	94	22	30	71	97
概ね達成	10		32		8		26	
未達成	2		6		1		3	

昨年に引き続き、学校給食食材に占める地場産物使用割合が3割を超えたほか、施設利用が着実に図られ、市民センター施設の利用者数、市民協働の自主事業の参加者数や鑑賞者数、図書館利用・貸出冊数など22指標、71%が目標を達成しています。また、達成率90%を超える8指標を含むと、30指標、97%の概ね目標達成となっています。

学校教育においては、児童生徒の学力向上に係る関連指標が、すべて達成または概ね達成となっています。

目標に届かなかったものは、生涯学習講座の延べ受講者数の1指標であったが、市民の健康志向に対応した健康プログラム事業の実施に伴う講座の減少と受講者の移行が要因となっている。今後は、市民のニーズに対応した生涯学習講座のあり方について検討し、受講者の増を図っていく必要がある。

資料1 平成19年度総合計画前期基本計画まちづくり指標(教育委員会31指標)実績一覧表

ウ 事務事業の点検・評価

評価は、目標の達成状況に応じて、90%以上達成した事業を概ね達成、90%未満の事業を未

達成とし、事務事業について、継続・見直し・完了・廃止の4区分で評価しています。

【平成19年度教育委員会事務事業行政評価総括表】

区分	項目	19年度 事業数	18年度 事業数	区分	項目	19年度 事業数	18年度 事業数
概ね 達成	継続	73事業	67事業	未達成	継続	9事業	9事業
	見直し	4事業	5事業		見直し	0事業	1事業
	完了	6事業	8事業		完了	1事業	0事業
	廃止	1事業	0事業		廃止	0事業	0事業
	合計	84事業	80事業		合計	10事業	10事業

達成状況は、全事務事業94事業中、84事業（89.3%）が概ね目標を達成した（100%以上の目標達成は76事業）。昨年度より0.4ポイント上昇しており、着実に事業が実施され、計画も推進されている。90%未満（10.7%）要因としては、各種講座の参加者数、各種事務処理件数が減少していることによる。

また、見直し事業数が平成19年度の6事業から、19年度は4事業に減少しており、この行政評価の取組みの継続により、効果的な事業推進に向けた点検がきちんと成されてきたことの表れだと思われる。

施策別では、学校教育の充実、生涯学習の推進、国の重要文化財等指定及び遠野遺産認定制度に伴う郷土文化の保存と活用について着実に進められており、見直しについては、学校教育、芸術文化、スポーツ振興を主に行い、事業の充実、適切な経費削減を図った。

今後は、学校施設の整備、総合食育センター構想の推進、遠野物語発刊100周年記念プロジェクトの推進を図っていく必要がある。

資料2 平成19年度事務事業行政評価（教育委員会94事務事業）集計表

資料3 平成19年度事務事業成果説明書

エ 外部評価の結果

外部評価は、前段で説明したとおり、総合計画前期基本計画まちづくり指標の平成19年度達成状況が「概ね達成」8指標及び「未達成」1指標の中から、その実績結果に直接的に影響すると思われる事業で、かつ遠野市行政評価推進本部会議での内部評価の結果が「継続」または「見直し」の判定となった事業の中から、下記の3事業を選択し、遠野市総合計画審議会において外部評価を行いました。

	まちづくり 指標	まちづくり 指標名	単位	目標値	実績値	達成 状況	達成 率%	まちづくり指標の成果・評価
	行政評価 評価書	まちづくり指標の 実績に直接的に影 響した事務事業名	事務事業の 内部評価結果		外部評価結果			
1	1	スポーツ施設 利用者数	人	219,000	210,108	概ね 達成	95.9	スポーツ施設利用者数は達成率4.1ポイントとなっているが、スポーツによる子どもから高齢者までの健康づくり活動は「とすぽ」サテライト校（各地区センター）及び保育所を中心に活動しており、健康づくり教室、講座等の利用者9,041人を加えると、ほぼ満員の状況にある。今後においては、東

								北、全国規模の大会誘致や健康づくり活動の強化・推進を図り、利用人員の増加を図る。
93	体育施設管理費（一般）	継続						適正な施設管理を各種スポーツの指導についてはスポーツ団体との連携を
【主な意見】 便所、水飲場、休息所等の配慮が不足している様に思われる。施設の管理はほぼ適正とあるが、サッカー場の芝の手入れ等を見ると如何かと思う。指導についても独自の計画でやられるのは良いが行政、スポーツ団体と連携して実施されているか心配である。この事業の達成率が95.9%であるのに対して評価が低いのはなぜか。評価項目が不適切ではないのか。								
2	6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	53	50	概ね達成	94.3	設定値には達していないが、昨年度(49)よりは上回っている。中2・3の数学・英語の偏差値が低い科目を中心に、全体のレベルアップに取り組む。
	28	教育研究所費（標準学力検査・学力向上事業）	継続					標準学力検査・学力向上事業の更なる取り組みを
【主な意見】 成果の2に、ことばの教室で改善・解消できた。不登校児童の学校復帰できたところがあるが、100%なのか。データがあるとよい。学力偏差値が昨年度より上昇しているということで目標値には達しなくても取り組みの成果が現れていると思う。継続して取り組んでほしい。								
	14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	3,940	2,927	未達成	74.3	市民の健康志向などニーズに対応した健康づくり総合プログラムの実施により、講座数とともに受講者が減少した。市民のニーズに対応した生涯学習講座のあり方について検討する。
	65	生涯学習のまちづくり推進費	継続					連携を確実に総合的な視点での対応を講座の手法（年代にあった内容・各地区への出前講座等）・開催時期・時間帯・宣伝方法等に工夫を
3	【主な意見】 昭和46年市民センターが開設。当時としては、社会教育、保健活動、地域活動、広報広聴と全国でも先進的にやられた歴史がある。もう少し横の連携を図り、総合的な視点で対応されたらどうか。講座が平日の日中に片寄っていないか。働く人も参加しやすい設定になっているのか。市民センター、地区センター等の会場まで参加できない受講者のためにも、地域に入った学習は考えられないか。高齢者の参加プログラムとその呼びかけ方法について検討をお願いしたい。学びたいという意欲は誰でも持っていると思うが、講座の時間帯、講座の宣伝方法等、工夫してほしい。目標値の設定基準が分からないが、目標値が高すぎるということはないか。民話の町遠野ウォーキング大会の参加者が計上されていない理由は何か。「生涯学習」をいつまでも市（役所）がお膳立てするというのは如何なものか。市民の自主的なサークル活動、学習活動へ会場の提供や講師謝礼の支援を行う等、方向転換を図るべきではないか。健康づくり教室・講座等、冬期間（農家にとっては農閑期）にも開設して欲しい。							

平成19年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会31指標）実績一覧表

まちづくり指標			前年度 実績値	19年度		達成状況	達成率 (%)	成果・評価
指標名	単位	目標値		実績値				
1	スポーツ施設利用者数	人	221,662	219,000	210,108	概ね達成	95.9	スポーツ施設利用者数は達成率 4.1ポイントとなっているが、スポーツによる子どもから高齢者までの健康づくり活動は、「とすば」サテライト校(各地区センター)及び保育所を中心に活動しており、健康づくり教室、講座等の利用者9,041人を加えると、ほぼ横ばいの状況にある。今後においては、東北、全国規模の大会誘致や健康づくり活動の強化・推進を図り、利用人員の増加を図る。
2	総合型地域スポーツクラブ会員数(累計)	人	1,904	2,400	2,404	達成	100.2	市内9町全てに総合型地域スポーツクラブが設置されたことにより、総合型地域スポーツクラブ会員数は年度目標を達成した。H20年度は、とすばサテライト校活動の展開等により、さらに会員の増員が期待される。
3	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,499	3,540	3,305	概ね達成	93.4	老人クラブ参加者数は微減傾向にある。今後は、団塊世代の退職期を迎えることから、参加者の新規加入促進を図る。
4	中学生・高校生の海外派遣数	人	34	23	25	達成	108.7	平成19年度は、中学生・高校生25人の海外派遣を実施した(中学生チャタヌーガ派遣9人・高校生チャタヌーガ派遣11人・高校生カシミア派遣5人)。カシミア校への派遣は、18年度は14人に対し19年度は5人とどまったが、チャタヌーガ派遣に関しては、中高生共に目標どおりであった。
5	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	51	51	53	達成	103.9	設定値を上回っており各校の取り組みが成果となって表れている。国語・算数は良好だが、理科・社会がやや落ち込んでいる。理科・社会の偏差値の向上を図る取り組みを実施する。
6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	49	53	50	概ね達成	94.3	設定値に達していないが、昨年度(49)よりは上回っている。中2・3の数学・英語の偏差値が低い科目を中心に、全体のレベルアップに取り組む。
7	学習定着度状況調査(小学校)	平均点	75	78	72	概ね達成	92.3	問題の難易度が上がり、設定値に達しなかったが、県平均より1点上回っている。特に「数量、図形についての知識・理解」領域が高く、基本的な事項の理解が高まっている。
8	学習定着度状況調査(中学校)	平均点	65	68	66	概ね達成	97.1	設定値には達していないが、県平均との比較では1点上回っており、着実に成果を上げてきている。英語の「書くこと」が正答率5割に達せず、課題であることから解決に向け取り組む。
9	特色ある学校づくり事業実施学校数	校	17	18	19	達成	105.6	市内すべての小中学校で、地域の実情にあった地域理解学習が行われた。今後においても継続した学習に取り組む。
10	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	30.2	27.0	33.5	達成	124.1	市内の食材供給組合(産直)や契約栽培(ジャガイモ)などからの仕入れを通じ、地場産物の食材活用を積極的に進めたことから、30%を超える使用割合となった。 遠野学校給食センター 31.0%、宮守学校給食センター 44.8%(計33.5%) 地場農産物の生産拡大や冬場のストック設備など供給体制整備が課題。
11	市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く)	件	4,606	3,900	3,749	概ね達成	96.1	各種サークル、団体の活動拠点として昨年度同様市民センター施設が利用されているが、大ホールの催事の件数が減少し、それに伴う控室関係施設の利用件数が減少となった。ホワイエを利用した作品展等の利用件数も減少した。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加を図る。
12	市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)	人	205,819	169,000	171,037	達成	101.2	大ホールの催事、ホワイエの作品展等利用件数が減少したことにより、前年度より34,782人減少したが、H19年度目標値を約2,000人を上回る集客数となった。今後も生涯学習などの充実により、利用者数の増加を図る。
13	全講座における継続的な学習機会の割合	%	14.3	25.0	31.1	達成	124.4	講座は70コースから61コースに減少したものの継続的な講座は10コース増え19コースになった。今後も意識した学習機会の提供を図る。
14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,026	3,940	2,927	未達成	74.3	市民の健康志向などニーズに対応した健康づくり総合プログラムの実施により、講座数とともに受講者が減少した。市民のニーズに対応した生涯学習講座のあり方について検討する。
15	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,157	1,000	949	概ね達成	94.9	学校を会場とする家庭教育ゼミナールを12会場で開催した。今後も学習機会の充実に努める。

まちづくり指標			前年度 実績値	19年度		達成状況	達成率 (%)	成果・評価
指標名	単位	目標値		実績値				
16	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	13	8	17	達成	212.5	みやもりホールで6回、市民センターで7回、中ホールで4回開催され、活発な事業展開が図られた。今後も芸術文化団体の育成と支援に努める。
17	市民協働の自主事業の参加者数	人	1,989	1,720	2,761	達成	160.5	市民芸術祭への小中高等学校の参加が得られたこと、および芸術文化協会加盟団体の自主事業数が増えたことが、参加者数の増加につながった。
18	市民協働の自主事業の鑑賞者数	人	8,973	7,500	12,462	達成	166.2	バレエスタジオ開設30周年記念公演の開催、市民芸術祭への小中高等学校の参加が得られたこと、及び芸術文化協会加盟団体の自主事業数が増えたことが、鑑賞者の増加につながった。
19	博物館入館者数	人	27,086	28,400	33,481	達成	117.9	前年度比24%の増。夏以降のNHKドラマ「どんと晴れ」の好影響もあり、入館者は大幅に増加した。福島会津バス観光のツアー(3,000人)の実施等が要因。
20	博物館講座等の受講者数	人	1,071	720	984	達成	136.7	学社連携の博物館教室や県内博物館連携講座の実施、市民向け出前講座の利用者増加による。
21	『遠野物語』ゼミナール参加者数	人	89	85	374	達成	440.0	本年度から2会場で積極的に開催。6/2東京・武蔵野会場273人、8/24～25遠野会場101人の参加者があった。
22	図書館の蔵書冊数(累計)	冊	169,387	171,400	173,168	達成	101.0	小学校及び児童館への貸出用図書の購入に努め、また、郷土資料図書を収集した。
23	図書館の利用者数	人	17,512	18,000	25,141	達成	139.7	図書館総合情報システムを導入したことにより、19年度の図書を借りた利用者数は25,141人、前年度対比では7,629人(43.6%)の利用者が増え、登録及び貸出業務の効率化が図られた。
24	市民への図書貸出冊数	冊	64,926	74,000	110,291	達成	149.0	図書館総合情報システムを導入したことにより、19年度の市民への図書の貸出冊数は110,291人、前年度対比では45,365冊(69.9%)の伸びを示し、貸出業務の効率化が図られた。
25	移動図書館車の貸出冊数	冊	4,941	5,600	7,037	達成	125.7	図書館総合情報システムを導入したことにより、19年度の移動図書館車の貸出冊数は7,037冊、前年度対比では2,096冊(42.4%)の伸びを示し、貸出業務の効率化が図られた。
26	学校図書館への貸出冊数	冊	8,400	11,500	11,805	達成	102.7	配本計画により小学校図書館(10校)へ11,500冊を貸出した。また、総合学習(調べ学習)のため305冊貸出した。
27	市文化財の指定(累計)	件	107	109	109	達成	100.0	文化財指定に必要な情報収集と調査を継続中。19年度に2件市指定、他に国指定重要文化財1件、国重要文化的景観選定1件、国登録文化財2件の登録を通じて、文化財の周知と保護が図られた。
28	文化財教室受講者数	回	14	15	8	達成	183.3	遺産認定制度が確立したこともあり、開催件数は前年度を下回ったものの受講者数は大幅に増加した。今後も、文化財への理解と関心を深めるため、内容の充実を図り、教室の開催件数と受講者数の増加を図っていく。
		人	288	300	550			
29	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	35	37	35	概ね達成	94.6	新規事業遠野遺産案内板を優先して設置した。平成20年度に遠野遺産、史跡説明板設置等指定文化財関係看板を設置し、案内板・説明板事業により充実を図る。
30	民俗芸能団体数(累計)	団体	65	65	65	達成	100.0	郷土芸能保存育成事業等を通じた用具の整備、発表機会の支援を継続し、後継者育成と活動の機会を創出し、民俗芸能団体の維持が図られた。芸能団体の充実を図る必要がある。
31	民俗芸能の映像記録団体数(累計)	団体	15	16	16	達成	100.0	団体当たり多くの演目を有する芸能もあり、一度に記録することは難しく、数演目ごとの記録となることが多い。演目の復活を図る必要がある。

平成19年度事務事業行政評価（教育委員会94事務事業）集計表

資料2

款	項	目	事業名	決算額 (単位:円)	評価分類	事業区分	市民協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果	
1	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）	3,499,965	事務事業	ハード	×	附馬牛小学校 トイレ改修、低学年流し排水改修	100.0%	継続
2	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）	2,487,162	事務事業	ハード	×	青笹・土淵・附馬牛中学校外壁塗装	100.0%	継続
3	3	1	3	高齢者スポーツ大会費	457,197	事務事業	ソフト		参加者数	109.5%	継続
4	3	1	3	老人クラブ育成指導費	3,152,693	事務事業	ソフト		会員数	95.5%	継続
5	3	2	1	青少年健全育成活動事業費	3,367,602	事務事業	ソフト		少年委員活動回数	83.9%	継続
6	4	1	5	健康スポーツプログラム推進事業費	3,393,676	事務事業	ソフト		健康づくり総合大学創設、健康づくり総合プログラムの実践	100.0%	継続
7	4	1	5	地域健康づくりプログラム推進事業費	1,490,168	事務事業	ソフト		総合型地域スポーツクラブへの支援、ジュニアスポーツクラブ創設・支援	100.0%	継続
8	4	1	5	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	1,528,899	事務事業	ソフト		新体力テスト結果の向上、体力テストの分析生活習慣アンケートの実施、分析	100.0%	継続
9	5	1	2	勤労青少年ホーム運営事業費	4,400,827	事務事業	ソフト		定期利用申請団体数	116.6%	継続
10	10	1	1	教育委員会費	2,859,430	事務事業	ソフト	×	教育委員会定例会の開催	100.0%	継続
11	10	1	2	事務局一般事務費	80,529,795	事務事業	ソフト	×	中学校再編計画についての教育懇話会開催数、事業支援団体への補助	100.0%	継続
12	10	1	2	学校保健管理費	392,898	事務事業	ソフト	×	就学時健診対象児童数	89.6%	継続
13	10	1	2	私立幼稚園運営費補助金	1,100,000	事務事業	ソフト	×	運営費補助	100.0%	継続
14	10	1	2	幼稚園就園奨励事業費	7,990,115	事務事業	ソフト	×	減免対象世帯分の補助	107.6%	継続
15	10	1	2	子育て支援事業費	1,673,434	事務事業	ソフト	×	第三子無料化補助	89.4%	完了
16	10	1	2	地域教育文化振興事業費	344,000	事務事業	ソフト		地域教育協議会への補助	72.7%	継続
17	10	1	2	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	507,709	事務事業	ソフト		スクールガードリーダー活動計画時間数	100.0%	継続
18	10	1	2	学校教育専門員配置事業費	228,880	事務事業	ソフト	×	実施校、訪問日数	75.0%	継続
19	10	1	2	外国人講師招へい事業費	8,167,180	事務事業	ソフト	×	派遣学校数・派遣日数	100.0%	継続
20	10	1	2	特色ある学校づくり事業費	2,065,815	事務事業	ソフト		実施学校数、児童生徒の地域理解度	98.5%	継続
21	10	1	2	学校教育一般事務事業費	32,903,949	事務事業	ソフト	×	指導主事派遣回数、研修会の開催件数	138.5%	継続

	款	項	目	事業名	決算額 (単位:円)	評価分類	事業区分	市民協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
22	10	1	2	就学指導委員会事業費	61,110	事務事業	ソフト	×	就学指導委員会・知能検査研修会の開催	100.0%	継続
23	10	1	2	ふるさと学校体験推進事業費	187,991	事務事業	ソフト	×	受入児童数	105.0%	継続
24	10	1	2	学校適応相談員配置事業費	1,727,530	事務事業	ソフト	×	配置校数・配置相談員数・相談時間数	100.0%	見直し
25	10	1	2	子どもと親の相談員配置事業費	350,000	事務事業	ソフト	×	配置校数・配置相談員数・相談時間数	100.0%	継続
26	10	1	2	心の教室相談員配置事業費	562,464	事務事業	ソフト	×	配置校数・配置相談員数・相談時間数	100.0%	廃止
27	10	1	3	教育研究所事業費(社会科副読本編集事業)	531,350	事務事業	ソフト	×	小学校社会科副読本の作成	100.0%	継続
28	10	1	3	教育研究所事業(標準学力検査・学力向上事業)	6,303,433	事務事業	ソフト	×	NRTの実施、幼児ことばの教室相談員等配置、教育研究発表会・環境科学発表会開催	100.0%	継続
29	10	1	4	育英事業費	37,990,840	事務事業	ソフト	×	新規奨学生採用予定数等	100.0%	継続
30	10	1	5	公舎管理費	519,545	事務事業	ソフト	×	教職員住宅管理	100.0%	継続
31	10	2	1	小学校一般管理費	121,208,923	事務事業	ソフト	×	小学校運営事業	100.0%	継続
32	10	2	1	校舎維持管理費(一般)(小学校)	5,432,820	事務事業	ハード	×	市内小学校維持管理	100.0%	継続
33	10	2	1	校舎等維持管理費(単独)(小学校)	17,731,140	事務事業	ハード	×	遠野小学校プールサイド改修、上郷小学校プールの過器取り替え 外	100.0%	継続
34	10	2	1	学校保健管理費(小学校)	8,276,534	事務事業	ソフト	×	児童、教職員の健康診断受診数	97.0%	継続
35	10	2	1	小学校施設耐震診断調査費	1,213,537	事務事業	ハード	×	耐震診断調査	100.0%	完了
36	10	2	2	特別支援教育関係費(小学校)	540,037	事務事業	ソフト	×	特別支援学級設置数等	100.0%	継続
37	10	2	2	通学対策費(小学校)	21,893,514	事務事業	ソフト	×	スクールバス・ワゴン等の運行	100.0%	継続
38	10	2	2	教材整備費(小学校)	23,386,630	事務事業	ソフト	×	教材備品・図書整備・パソコンリース	100.0%	継続
39	10	2	2	就学援助費(小学校)	6,723,548	事務事業	ソフト	×	支給対象児童数	100.0%	継続
40	10	2	2	特別支援教育就学奨励費(小学校)	408,095	事務事業	ソフト	×	支給対象児童数	100.0%	継続
41	10	2	2	指導用教材整備費(小学校)	140,140	事務事業	ソフト	×	教師用教科書・指導書整備	100.0%	継続
42	10	2	2	教育研究指定校事業費(小学校)	230,554	事務事業	ソフト	×	研究指定校、学校公開研究会開催	100.0%	継続
43	10	2	2	特別支援教育推進事業費	10,222,389	事務事業	ソフト	×	特別支援学級配置校、特別支援教育支援員	100.0%	継続
44	10	2	2	小学校複式学級支援事業費	2,488,956	事務事業	ソフト	×	小学校複式学級支援学習指導補助員配置	100.0%	完了

	款	項	目	事業名	決算額 (単位:円)	評価分類	事業区分	市民協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
45	10	2	2	文化行事奨励事業費	603,762	事務事業	ソフト	×	音楽祭・作品展等の開催	100.0%	見直し
46	10	2	2	体育・文化行事奨励事業費(小学校)	693,000	事務事業	ソフト	×	事業費補助団体数	100.0%	継続
47	10	2	3	上郷小学校改築整備事業費	17,073,000	事務事業	ハード	×	旧屋内運動場解体工事等	100.0%	完了
48	10	2	3	綾織小学校改築整備事業費	1,772,400	事務事業	ハード	×	基本構想策定	0.0%	継続
49	10	2	3	遠野北小学校大規模改造等事業費	9,450,000	事務事業	ハード	×	大規模改造実施設計	100.0%	継続
50	10	2	3	小学校施設耐震補強事業(単独)	0	事務事業	ハード	×	耐震補強設計対象校	0.0%	継続
51	10	3	1	中学校一般管理費	107,861,432	事務事業	ソフト	×	中学校運営事業	100.0%	継続
52	10	3	1	校舎等維持管理費(一般)(中学校)	4,426,553	事務事業	ソフト	×	市内中学校維持管理	100.0%	継続
53	10	3	1	学校保健管理費(中学校)	5,614,807	事務事業	ソフト	×	児童、教職員の健康診断受診数	96.0%	継続
54	10	3	1	中学校施設耐震診断調査費	262,500	事務事業	ソフト	×	耐震診断調査	100.0%	完了
55	10	3	2	教材整備費(中学校)	20,573,197	事務事業	ソフト	×	教材備品・図書整備・パソコンリース	100.0%	継続
56	10	3	2	特別支援教育就学奨励費(中学校)	390,295	事務事業	ソフト	×	支給対象生徒数	100.0%	継続
57	10	3	2	通学対策費(中学校)	7,857,302	事務事業	ソフト	×	スクールバスの運行	100.0%	継続
58	10	3	2	特別支援教育関係費(中学校)	186,012	事務事業	ソフト	×	特別支援学級設置数等	100.0%	継続
59	10	3	2	就学援助費(中学校)	8,316,641	事務事業	ソフト	×	支給対象生徒数	100.0%	継続
60	10	3	2	指導用教材整備費(中学校)	6,907	事務事業	ソフト	×	教師用教科書	100.0%	継続
61	10	3	2	教育研究指定校事業費(中学校)	50,000	事務事業	ソフト	×	研究指定学校設置	100.0%	継続
62	10	3	2	体育・文化行事奨励事業費(中学校)	3,250,000	事務事業	ソフト	×	事業費補助団体数	100.0%	継続
63	10	4	1	幼稚園運営事業費	5,140,084	事務事業	ソフト	×	就園児童数	90.4%	継続
64	10	5	1	社会教育一般事務費	55,177,192	事務事業	ソフト	×	会議・研修会等への参加	100.0%	継続
65	10	5	1	生涯学習のまちづくり推進費	1,084,959	事務事業	ソフト		学級講座参加者数	74.2%	継続
66	10	5	1	青少年活動サポート事業費	2,041,347	事務事業	ソフト		成人式の開催、囲碁・将棋教室の開催	100.0%	継続
67	10	5	1	芸術文化振興事業費	23,078,430	事務事業	ソフト		自主事業実施回数	212.5%	見直し

	款	項	目	事業名	決算額 (単位:円)	評価分類	事業区分	市民協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
68	10	5	1	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	467,504	事務事業	ソフト		男女共同参画に関する講座参加者数	100.0%	継続
69	10	5	1	家庭教育支援総合推進事業費	278,605	事務事業	ソフト		家庭教育ゼミナール等参加者数	94.9%	継続
70	10	5	1	学社連携プログラム推進事業費	1,527,640	事務事業	ソフト		少年少女ふるさと発見探偵団等参加者数	48.2%	継続
71	10	5	2	公民館一般管理費	77,264,792	事務事業	ソフト	×	公民館利用件数、利用者数	106.3%	継続
72	10	5	2	文化交流施設管理費	17,038,753	事務事業	ソフト	×	施設利用者数	115.2%	継続
73	10	5	3	図書館・博物館一般管理事業費	80,852,163	事務事業	ソフト	×	清掃業務の実施、機械設備等の定期点検	100.0%	継続
74	10	5	3	図書館事業費	22,406,401	事務事業	ソフト		利用者数、図書貸出冊数	115.1%	継続
75	10	5	3	博物館事業費	11,239,525	事務事業	ソフト		特別展来館者数	117.8%	継続
76	10	5	3	博物館展示改修事業費	8,421,000	事務事業	ソフト	×	展示改装基本計画の作成 遠野の四季盤面交換	100.0%	継続
77	10	5	3	とのおの昔話村管理事業費	18,871,834	事務事業	ソフト	×	入館者数	119.1%	継続
78	10	5	3	視聴覚教育振興事業費	942,799	事務事業	ハード	×	機材・教材の貸出数	150.6%	継続
79	10	5	3	遠野物語研究所運営事業費	5,144,000	事務事業	ソフト		遠野物語教室・ゼミナールの開催	100.0%	継続
80	10	5	3	遠野城下町資料館管理事業費	4,171,639	事務事業	ソフト	×	入館者数	93.4%	継続
81	10	5	3	遠野蔵の道ギャラリー管理事業費	4,764,708	事務事業	ソフト	×	入館者数	81.3%	継続
82	10	5	3	宮守ゆうＹｏｕソフト館管理事業費	1,765,027	事務事業	ソフト		利用者数、図書貸出冊数	140.5%	継続
83	10	5	3	移動図書館車更新整備事業費	12,988,609	事務事業	ハード		移動図書館車更新	100.0%	完了
84	10	5	4	文化財調査保護事業費	2,867,236	事務事業	ソフト		遺跡調査、郷土芸能保存補助、民俗芸能映像記録	100.0%	継続
85	10	5	4	埋蔵文化財発掘調査事業費	10,389,327	事務事業	ソフト	×	埋蔵文化財発掘調査	100.0%	継続
86	10	5	4	千葉家重要文化財指定整備活用事業費	378,420	事務事業	ソフト	×	国重要文化財指定 自動火災報知機設置図書作成	100.0%	継続
87	10	5	4	遺跡分布調査事業費	3,006,432	事務事業	ソフト	×	分布調査、報告書作成	100.0%	継続
88	10	5	4	遠野遺産認定事業	442,710	事務事業	ソフト		遺産認定、リーフレット発行	100.0%	継続
91	10	6	1	スポーツ健康一般事務費	28,355,586	事務事業	ソフト	×	スポーツ振興審議会の開催等	100.0%	継続
90	10	6	1	競技・イベントスポーツプログラム推進事業	14,988,401	事務事業	ソフト		運営補助、定例会議等	100.0%	継続

	款	項	目	事業名	決算額 (単位:円)	評価分類	事業区分	市民協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
89	10	6	1	ジュニアレベルアッププログラム推進事業費	3,254,218	事務事業	ソフト	×	ジュニアスポーツクラブへの育成支援	100.0%	見直し
92	10	6	2	学校給食事業費	262,588,428	事務事業	ソフト	×	年間供給食数等	100.0%	継続
93	10	6	3	体育施設管理費(一般)	77,299,188	事務事業	ソフト	×	施設利用者数	95.9%	継続
94	10	6	3	体育施設管理費(単独)	3,706,107	事務事業	ハード	×	宮守体育館気中開閉器取替え工事 市民体育館非常用照明蓄電池交換工事	100.0%	完了

款	項	目	事業名
1	2	1	5 公共施設ロングライフ事業（小学校施設）
2	2	1	5 公共施設ロングライフ事業（中学校施設）
3	3	1	3 高齢者スポーツ大会費
4	3	1	3 老人クラブ育成指導費
5	3	2	1 青少年健全育成活動事業費
6	4	1	5 健康スポーツプログラム推進事業
7	4	1	5 地域健康づくりプログラム推進事業
8	4	1	5 子どもの体力づくりプログラム推進事業
9	5	1	2 勤労青少年ホーム運営事業費
10	10	1	1 教育委員会費
11	10	1	2 事務局一般事務費
12	10	1	2 学校保健管理費
13	10	1	2 私立幼稚園運営費補助金
14	10	1	2 幼稚園就園奨励事業費
15	10	1	2 子育て支援事業費
16	10	1	2 地域教育文化振興事業費
17	10	1	2 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
18	10	1	2 学校教育専門員配置事業
19	10	1	2 外国人講師招へい事業
20	10	1	2 特色ある学校づくり事業
21	10	1	2 学校教育一般事務事業
22	10	1	2 就学指導委員会事業
23	10	1	2 ふるさと学校体験推進事業
24	10	1	2 学校適応相談員配置事業
25	10	1	2 子どもと親の相談員配置事業
26	10	1	2 心の教室相談員配置事業
27	10	1	3 教育研究所事業（社会科副読本編集事業）
28	10	1	3 教育研究所事業（標準学力検査・学力向上事業）
29	10	1	4 育英事業費
30	10	1	5 公舎管理費
31	10	2	1 小学校一般管理費
32	10	2	1 校舎維持管理費（一般）（小学校）
33	10	2	1 校舎等維持管理費（単独）（小学校）
34	10	2	1 学校保健管理費（小学校）
35	10	2	1 小学校施設耐震診断調査費（繰越）
36	10	2	2 特別支援教育関係費（小学校）
37	10	2	2 通学対策費（小学校）
38	10	2	2 教材整備費（小学校）
39	10	2	2 就学援助費（小学校）
40	10	2	2 特別支援教育就学奨励費（小学校）
41	10	2	2 指導用教材整備費（小学校）
42	10	2	2 特別支援教育推進事業
43	10	2	2 小学校複式学級支援事業
44	10	2	2 教育研究指定校事業（小学校）
45	10	2	2 文化行事奨励事業
46	10	2	2 体育・文化行事奨励事業（小学校）
47	10	2	3 上郷小学校改築整備事業費

款	項	目	事業名
48	10	2	3 綾織小学校改築整備事業費
49	10	2	3 遠野北小学校大規模改造等事業費
50	10	2	3 小学校施設耐震補強事業（単独分）
51	10	3	1 中学校一般管理費
52	10	3	1 校舎等維持管理費（一般）（中学校）
53	10	3	1 学校保健管理費（中学校）
54	10	3	1 中学校施設耐震診断調査費（繰越）
55	10	3	2 教材整備費（中学校）
56	10	3	2 特別支援教育就学奨励費（中学校）
57	10	3	2 通学対策費（中学校）
58	10	3	2 特別支援教育関係費（中学校）
59	10	3	2 就学援助費（中学校）
60	10	3	2 指導用教材整備費（中学校）
61	10	3	2 教育研究指定校事業（中学校）
62	10	3	2 体育・文化行事奨励事業（中学校）
63	10	4	1 幼稚園運営事業費
64	10	5	1 社会教育一般事務費
65	10	5	1 生涯学習のまちづくり推進費
66	10	5	1 青少年活動サポート事業費
67	10	5	1 芸術文化振興事業費
68	10	5	1 と・お・のいきいき参画プラン推進事業費
69	10	5	1 家庭教育支援総合推進事業費
70	10	5	1 学社連携プログラム推進事業費
71	10	5	2 公民館一般管理費
72	10	5	2 文化交流施設管理費
73	10	5	3 図書館・博物館一般管理事業
74	10	5	3 図書館事業
75	10	5	3 博物館事業
76	10	5	3 博物館展示改修事業
77	10	5	3 とおの昔話村管理事業
78	10	5	3 視聴覚教育振興事業
79	10	5	3 遠野物語研究所運営事業費
80	10	5	3 遠野城下町資料館管理事業
81	10	5	3 遠野蔵の道ギャラリー管理事業
82	10	5	3 宮守ゆうＹｏｕソフト館管理事業
83	10	5	3 移動図書館車更新整備事業
84	10	5	4 文化財調査保護事業
85	10	5	4 埋蔵文化財発掘調査事業
86	10	5	4 千葉家重要文化財指定整備活用事業
87	10	5	4 遺跡分布調査事業
88	10	5	4 遠野遺産認定事業
89	10	6	1 スポーツ健康一般事務
90	10	6	1 競技・イベントスポーツプログラム推進事業
91	10	6	1 ジュニアレベルアッププログラム推進事業
92	10	6	2 学校給食事業
93	10	6	3 体育施設管理費（一般）
94	10	6	3 体育施設管理費（単独）

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業（小学校施設）								単位：円	
事業内容		附馬牛小学校のトイレ改修及び低学年流し排水改修						計画値	附馬牛小学校 ・トイレ改修		
成果		附馬牛小学校のトイレの簡易水洗化及び低学年児童が使用する流しの排水改修を行ったことにより、事業目的である児童の教育環境の整備が図られた。 トイレ改修 3,364,200円 低学年流し排水改修 135,765円 計 3,499,965円						実績値	附馬牛小学校 ・トイレ改修 ・低学年流し排水改修		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源				
3,500,000		3,499,965					3,499,965				

2 款		総 務 費		1 項		総 務 管 理 費		5 目		財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業（中学校施設）								単位：円	
事業内容		青笹中学校、土淵中学校及び附馬牛中学校外壁塗装						計画値	青笹中学校、土淵中学校及び附馬牛中学校外壁塗装		
成果		青笹中学校、土淵中学校及び附馬牛中学校（木造校舎）の外壁を塗装したことにより、事業目的である校舎の適正な維持管理が図られた。 青笹中学校外壁塗装 1,313,030円 土淵中学校外壁塗装 721,668円 附馬牛中学校外壁塗装 452,464円 計 2,487,162円						実績値	青笹中学校、土淵中学校及び附馬牛中学校外壁塗装		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源				
2,500,000		2,487,162					2,487,162				

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事業名		高齢者スポーツ大会費								単位：円	
事業内容		高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。						計画値	大会数 5 回参加者数 1,575人		
成果		遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 第2回ゲートボール・ペタンク大会（6月5日、350人参加） 第2回さわやかスポーツ大会（7月19日、600人参加） 第2回グランド・ゴルフ大会（8月24日、95人参加） 第19回いきいきシルバースポーツ大会（9月1日、80人参加） 第2回シルバー室内競技大会（3月4日、600人参加）						実績値	大会数 5 回参加者数 1,725人		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源				
485,000		457,197		0		0	457,197				

3 款		民 生 費		1 項		社 会 福 祉 費		3 目		老 人 福 祉 費	
事 業 名		老人クラブ育成指導費								単位：円	
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。							計 画 値	単位クラブ数 69団 事業回数 5 回 会員数 3,499 人		
	成 果	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 第39回岩手県老人クラブ大会参加（10月4日、22人参加） 第2回シルバー文化祭（展示部門、11月3～4日） 第2回シルバー文化祭（舞台部門、11月20日） 「遠野今昔～山ひだに生きる（第2集）」発行 リーダー研修会（1月10日、200人参加） 第2回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月22日）							実 績 値	単位クラブ数 69団 事業回数 5 回 会員数 3,342 人	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,775,000		3,152,693		2,041,000				0		1,111,693	

3 款		民 生 費		2 項		児 童 福 祉 費		1 目		児 童 福 祉 総 務 費	
事 業 名		青少年健全育成活動事業								単位：円	
事業内容	青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。							計 画 値	少年委員活動回数 延1,080回		
	成 果	少年委員は市内全部で90人であり、今まで遠野町だけだった教員の少年委員を各町に配置するなど、主任児童委員等で少年に付いての情報交換を図る連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、列車補導、合同補導を実施した。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を5ヶ所全てで実施した。							実 績 値	少年委員活動回数 延 907回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,765,000		3,367,602								3,367,602	

4 款		衛 生 費		1 項		保 健 衛 生 費		5 目		健康づくり推進事業費	
事 業 名		健康スポーツプログラム推進事業								単位：円	
事業内容	「健康づくり総合プログラム」の活動拠点の「健康づくり総合大学」を開校し、市民1人ひとりがそれぞれの年齢や健康状態に応じて積極的に取り組むことができる各種プログラムの実践。本校はスポーツ、生涯学習、保健プログラムに取り組む。また市内9地区センターをサテライト校として、身近な地域でも健康づくり活動に参加できる環境を構築する。							計 画 値	・健康づくり総合大学創設 ・健康づくり総合プログラムの実践(本校2校 教室52回、サテライト校9地区) ・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催 2,000人		
	成 果	1、生涯を通じた健康づくりができる「健康づくり総合大学」を開校、名称を「とすぼ」とし、健康づくり活動の更なる推進を図った。 2、31年ぶり3度目の「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を遠野市民サッカー場をメイン会場に盛大に開催され、全国・海外に遠野市の健康づくり活動を発信した。 3、本校、サテライト校（地区センター）で健康プログラムを開催し、多くの市民が年間を通して健康づくりに取り組める環境を整えた。							実 績 値	・本校健康教室 2教室52回開催 762人参加 ・サテライト校3,212人参加 ・大学祭「心も体もホット！スポーツの集い」200人 ・夏期巡回ラジオ体操 3,339人（メイン会場 2,014人、サテライト 1,325人）	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,652,000		3,393,676						2,852,000		541,676	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
事業名		地域健康づくりプログラム推進事業			単位：円
事業内容	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が身近な施設を活動拠点として、自主運営しながら複数のスポーツ種目を楽しめるよう、市内9ヶ所に「総合型地域スポーツクラブ」が発足、更なる普及啓発と活動支援、種目別ジュニアスポーツクラブの育成を図る。			計画値	市内9ヶ所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ジュニアスポーツクラブ創設・支援
成果	市内各町に9つの総合型地域スポーツクラブが発足し、「とすば」と連携し、市民への健康づくり意識の啓発、活動の推進が図られた。			実績値	市内9ヶ所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ジュニアスポーツクラブ創設・支援
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,900,000	1,490,168				1,490,168

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費
事業名		子どもの体力づくりプログラム推進事業			単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力の向上や運動能力の向上、望ましい生活習慣の改善・形成を図る。 ・生活習慣改善運動を展開し、早寝・早起き・朝ごはん運動の推進を図る。 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・走り方講習会の実施 ・運動能力向上トレーニングの実施 ・新体力テストの分析、生活習慣アンケートの実施・分析 ・就学前幼児の運動教室の実施 ・広報誌（ニュースレター）の発行 ・キッズ元気アップ応援隊による子どもの体力づくり向上推進 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト結果の向上 ・50m走、国・県平均を目標とした取組 ・体力テストの分析 ・生活習慣アンケートの実施、分析
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト総合評価A・B段階の割合で50%で、全国39.1%、県40.8%を大きく上回った。 ・生活習慣アンケートを実施、分析したことで児童及び保護者の実態を把握できた。 ・運動能力向上トレーニングを実施し、運動能力の向上が図られた。 ・チャレンジ徒歩通学強化月間を市内全児童を対象に実施、22日完歩児童は67%で、前年対比11%の増。 ・キッズ元気アップ応援隊を実施し、就学前幼児に様々な動きを遊びの中から体験させることができた。 			実績値	50m走 男子1年生以外国平均以上 女子2・3・4年生国平均以上 生活習慣アンケート ・朝食について 平日は児童・親とも食べているが、休日は児童1.3%、親4.1%が食べていなかった。 TVゲームは学年が上がるに連れて遊ぶ時間が増加傾向
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,834,000	1,528,899				1,528,899

5 款	労 働 費	1 項	労 働 諸 費	2 目	勤労青少年ホーム管理費
事業名		勤労青少年ホーム運営事業費			単位：円
事業内容	定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導（定期利用団体6団体、その他不定期利用団体4団体） 県内勤労青少年ホームとの交流会等への派遣 岩手県勤労青少年ホーム協議会及び各県内ホームで行われる事業・イベントに参加し、活動する青年との交流を図る。 遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 当ホームを遠野市青年団体協議会に平成19年4月11日～平成20年3月31日までの年間120日、1日3,000円で夜間管理委託している。			計画値	定期利用申請団体の利用6団体
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期利用団体の活動を助言・指導した。 年間を通して、音楽室・集會室など177回の使用があり、延1,213人が利用している。 ・県内勤労青少年ホームとの交流。 定期総会5月 県内ブロック研修会6月 館長会議10月 機関誌「もえ木」発行（原稿作成） 			実績値	定期利用申請団体6団体（トオヌップ11名 墨遊会8名 英会話9名 混声合唱10名 バンド4名 バンド6名）
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,639,000	4,400,827				4,400,827

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	1目	教 育 委 員 会 費
事業名		教育委員会費			単位：円
事業内容	教育委員会の運営費			計画値	教育委員会定例会の開催 12回 教育委員会臨時会の開催 随時
成果	教育委員会定例会及び臨時会を開催し、教育行政の推進を図った。			実績値	教育委員会定例会の開催 12回 教育委員会臨時会の開催 4回
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,355,000	2,859,430				2,859,430

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費
事業名		事務局一般事務費			単位：円
事業内容	教育行政の推進にあたり必要となる人件費、需用費、負担金・補助金等の一般事務費。			計画値	中学校再編成検討委員会開催数 10回 事業支援団体数 2団体
成果	適正な予算執行を行い、各種事務及び事業を円滑に実施した。また、学校保健会、遠野高校情報ビジネス校振興協議会に対し補助を行い、各団体の活動への支援を図った。さらには、中学校の望ましい再編成を検討するため、中学校再編成検討委員会を設置し、諮問事項について答申を受けた。			実績値	中学校再編成検討委員会開催数 14回 事業支援団体数 2団体
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
83,657,000	80,529,795				80,529,795

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費
事業名		学校保健管理費			単位：円
事業内容	学校保健法に基づき、就学予定者に対しあらかじめ健康診断を行い、就学予定者の心身の状況を把握し、保健上必要な助言を行う。			計画値	就学時健診対象児童数 250人
成果	平成20年度に小学校へ入学する子供を対象に10月4日から11月26日にかけて市内各小学校で健診を行い、事前に子供達の健康状況を把握することで義務教育の円滑な実施に資することができた。			実績値	就学時健診実施児童数 224人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
466,000	392,898				392,898

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					私立幼稚園運営費補助金	単位：円
事業内容	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営に要する費用に対し補助を行う。			計画値	私立幼稚園 2園	
成果	私立幼稚園の健全な運営に寄与し、市内の幼児教育の振興が図られた。 光の園幼稚園 63人 557,500円 聖光幼稚園 57人 542,500円			実績値	私立幼稚園 2園	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,100,000	1,100,000				1,100,000	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					幼稚園就園奨励事業費	単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の所得状況に応じて、私立幼稚園の設置者が徴収する保育料等を減免する設置者に対し、その減免分の補助を行う。			計画値	助成園児数92人	
成果	保護者の所得状況に応じて保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興を図った。 光の園幼稚園 55人（3歳児13人、4歳児24人、5歳児18人） 聖光幼稚園 44人（3歳児22人、4歳児15人、5歳児7人）			実績値	助成園児数99人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,162,000	7,990,115	2,127,000			5,863,115	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					子育て支援事業費	単位：円
事業内容	少子化が進む中で、第3子以降の幼児（3・4・5歳児）が私立幼稚園に就園する世帯の保育料を無料化し、保護者の経済的負担を軽減する。			計画値	幼稚園に就園する第3子以降児 19人	
成果	第3子以降の幼児の保育料を無料化することで、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境をつくることに寄与した。 光の園幼稚園 12人 聖光幼稚園 5人			実績値	幼稚園に就園する第3子以降児 17人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,080,000	1,673,434				1,673,434	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円	
事業内容	市内に組織された地域教育協議会の充実を図り、もって地域の教育力の向上を期するため、その運営に要する経費に対し、補助金を交付する。			計画値	地域教育協議会 11地 区		
	1 遠野町地域教育協議会 6 土淵町地域教育協議会 2 綾織町地域教育協議会 7 青笹町地域教育協議会 3 小友町地域教育協議会 8 上郷町地域教育協議会 4 附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 9 宮守地区・達曽部地区 5 松崎町地域教育協議会 鱒沢地区の地域教育協議会(予定)						
成果	市内8地区の地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図った。			実績値	地域教育協議会 8地 区		
	1 遠野町地域教育協議会 6 土淵町地域教育協議会 2 綾織町地域教育協議会 7 青笹町地域教育協議会 3 小友町地域教育協議会 8 上郷町地域教育協議会 4 附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 5 松崎町地域教育協議会 なお、宮守地区・達曽部地区・鱒沢地区の地域教育協議会の設置については、事業の趣旨等に係る懇談会を開催し、20年度の設置の方向となった。						
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
550,000		344,000					344,000

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	単位：円	
事業内容	地域社会で、学校安全に取り組む体制づくりを確立するため、スクールガード・リーダーによる学校巡回及び通学路の安全評価の実施と、スクールガード(地域安全ボランティア)に対する指導を行い、地域において効果的な見守り活動を行う。			計画値	スクールガード・リーダー活動計画時間数 486時間		
	スクールガード・リーダーによる市内全学校の巡回、市内全学校の通学路の安全点検及び安全パトロール等をきめ細かく実施するとともに、スクールガードと連携した見守り活動を効果的に行い、地域社会で学校安全に取り組むことができた。				スクールガード・リーダー活動実績時間数 486時間		
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
508,000		507,709		493,400			14,309

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費		
事業名					学校教育専門員配置事業費	単位：円	
事業内容	学校教育専門員1名を配置し、市内小中学校19校に対して訪問指導を行った。内容は学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導支援を行い、教員の指導力の向上を図った。			計画値	実施校 19校 訪問日数 96日		
	学力向上に関する指導・支援を行うことを通して、教員の指導力向上を図り、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるように指導、助言を行った。				実施校 19校 訪問日数 72日		
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
347,000		228,880					228,880

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					外国人講師招へい事業費	単位：円
事業内容	中学校の英語教育や小学校の国際理解教育の支援を図るため、外国語指導助手（ALT）を招へいし、国際化に対応できる英語力の定着と、国際理解教育の推進を図る。			計画値	派遣学校数 20 派遣日数 330 日	
成果	児童生徒は外国語指導助手から生きた英語を学ぶことができた。中学校においては「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。小学校では、国際理解教育を進めることによって、「英語に興味を持つ児童」の育成を図るとともに、中学校で学習する英語の基礎能力向上につなげている。			実績値	派遣学校数 19 派遣日数 337 日	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,637,000	8,167,180			0	8,167,180	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円
事業内容	市内小中学校19校が、それぞれに企画・立案した事業計画をもとに、各校が地域の歴史・文化・伝統を生かして、農業体験、伝統芸能、地域理解学習等に取り組む。			計画値	実施校 19校 児童生徒の地域理解度80%	
成果	事業が展開される中で、学校と地域と家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校及び特色のある学校づくりを推進することができた。今年度の重点は地域理解学習であったが、各校の事業終了後に教員を対象に児童生徒の地域理解度に関するアンケートを実施したところ、児童生徒が地域に対する理解を深めたと9割以上の教員の回答があったことから、本事業の実施によって児童生徒の学習の推進が図られたと考えられる。			実績値	実施校 19校 児童生徒の地域理解度98.47%	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,100,000	2,065,815	200,000		1,865,000	815	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名					学校教育一般事務費	単位：円
事業内容	学校教育に関する庶務一般。関係会議等の開催。また、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。さらに学校教職員の研修事業として臨時任用教員研修会、幼稚園・保育園・小学校交流会、中学校図書館担当者研修会を開催する。また、遠野市生徒指導推進協議会、岩手県ことばを育む親の会、遠野市特別支援教育研究会事業への補助を行う。			計画値	指導主事の派遣回数 86 研修会の開催件数 3 回	
成果	さまざまな教科の指導主事の派遣によって校内研究の充実をはかり、児童生徒の学力向上につなぐことが出来た。また、各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育の一層の充実がはかれた。学校教育関係団体への補助についてもそれぞれの団体への支援を行うことが出来た。予算額のうち31,962,000円は人件費（給料、職員手当等、共済費）決算額のうち31,939,883円は人件費（給料、職員手当等、共済費）			実績値	指導主事の派遣回数 89 研修会の開催件数 3 回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
33,158,000	32,903,949				32,903,949	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名					就学指導委員会費	単位：円
事業内容	就学指導委員会を開催（3回）して、市内小中学校の児童生徒の就学に関する判断、支援を行う。			計画値	就学指導委員会の開催回数	3回
					知能検査研修会の開催回数	1回
成果	就学前の児童については、知能検査等各種、教育相談を経て、よりよい就学環境を整えることが出来た。また、知能検査の実施にあたり事前に講習会を開催し、就学指導委員会に備えることが出来た。			実績値	就学指導委員会の開催回数	3回
					知能検査研修会の開催回数	1回
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
162,000		61,110				一般財源 61,110

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名					ふるさと学校体験推進事業費	単位：円
事業内容	武蔵野市の小学校児童20名を遠野市立小学校3校で受け入れ、交流を行う。児童の家庭を中心に市内10軒でホームステイを行いながら6泊7日の日程で体験留学を行う。			計画値	受入児童数	20名
					実績値	受入児童数
成果	武蔵野市の児童を受け入れ、市内児童との交流を図ることができた。4年目の今年度は予定募集人員を超える申込みがあり、この事業の定着度がうかがえた。各受け入れ校では、それぞれ特色ある授業のなかに武蔵野市の児童を加え交流を図っていただいた。			実績値	受入児童数	21名
					実績値	受入児童数
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
242,000		187,991				一般財源 187,991

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名					学校適応相談員配置事業費	単位：円
事業内容	学校適応相談員を中学校1校に2名配置し、学校・地域・関係機関などと不登校生徒の家庭との連携強化を進め、不登校生徒の学校適応を図るとともに、不登校傾向及び悩みをもつ生徒の学校適応を推進する。			計画値	配置校数	1校
					配置相談員数	2名
成果	別室登校生徒に対して相談員が常に寄り添うことで安心して新しい活動への参加や教室復帰ができた。また、不登校生徒、別室登校生徒からの相談をもとに次の対応を関係機関で対応していくことが出来た。担任とも情報交換を行い、お互いの役割、立場を生かした支援ができた。			実績値	配置校数	1校
					配置相談員数	2名
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
1,809,000		1,727,530		810,000		一般財源 917,530

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------

事業名		子どもと親の相談員配置事業費				単位：円
事業内容	子どもと親の相談員を小学校1校に1名配置し、広く児童や保護者の話し相手、悩みの相談相手として、気軽に相談できる環境整備や呼びかけなどの工夫をし、生き生きと小学校生活をおくることができるように、子ども達が安心して登校できる学校、不安や悩みを相談できる相談体制を整備し、不登校の未然防止を図る。				計画値	配置校 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 350時間
	成果	自由時間や放課後の時間に児童たちが相談室を活用し、いじめや友人関係の改善を図ることができた。相談員が授業を参観するなどし、教室内での児童の様子を定期的に観察することができた。また、相談に訪れた児童について学級担任と相談内容を共有し、学校全体で児童理解を図ることができた。				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
350,000		350,000		350,000		一般財源 0

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------

事業名		心の教室相談員配置事業費				単位：円
事業内容	心の教室相談員を中学校2校にそれぞれ1名ずつ配置し、生徒の悩み、不安、ストレス等を和らげ、学校適応を推進し、問題行動の未然防止を図るとともに、相談員を活用した学校の相談体制を確立する。				計画値	配置校 2校 配置相談員数 2名 相談時間数 520時間
	成果	校内で事例検討会を開催し、学校としての方針や手立てを持ち、チームとして対応ができた。期末面談時に相談員による保護者面談、祖父母面談を実施し、様々な家庭事情に対応することができた（T中）不登校生徒と連絡を密にし、信頼関係を築き、継続的な支援をすることができた。不登校生徒について定例の職員会議や生徒指導事例研究会等で情報交換を行い、早期発見、共通理解を図ることが出来た。（M中）				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
564,000		562,464				一般財源 562,464

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費
------	-------	-----	-----------	-----	-------------

事業名		教育研究所費（社会科副読本編集事業）				単位：円
事業内容	地域理解の推進と郷土を愛する心を育むため、地域の教材を活用した小学校3・4年生向けの社会科副読本の印刷製本を行う。また、中学生向けの社会科副読本については内容をインターネットで閲覧して活用する。				計画値	小学校社会科副読本の印刷製本300冊
	成果	小学校については社会科副読本印刷製本し、小学校3年生に配付した。中学校についてはインターネットからの閲覧により活用した。				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
568,000		531,350				一般財源 531,350

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費
事業名		教育研究所費（標準学力検査・学力向上事業）			単位：円
事業内容	<p>1 市内小中学校の児童生徒（小2～小6、中1～中3対象）に対してNRT（標準学力検査）を実施する。</p> <p>2 幼児ことばの教室の運営、ことばの教室の補助員の配置、適応指導教室の運営を行った。また、NRT（標準学力検査）を実施後に、その結果を基に各研究部会を開催し、課題に向けての研究、発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>また、環境科学発表会では児童生徒が学習した成果の発表の場として開催し、優秀者に対しては表彰を行う。</p>			計画値	<p>NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会開催 1回 環境科学発表会開催 1回</p>
成果	<p>1 市内小中学校の児童生徒（小2～6、中1～3対象）に対してNRT（標準学力検査）を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。</p> <p>2 幼児及び児童のことばの教室では、通級指導を受けることで、多くの児童がその障害を改善、解消することが出来た。また、適応指導教室では不登校児童への指導を行い、学校への復帰を支援することができた。</p> <p>NRT実施後の分析結果を基に、その課題に対して研究部会で研究を行うことで学力向上へ貢献することができた。</p> <p>環境科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表することで、より広い視野をもたせることができた。また、環境問題に関して意識を高めさせられた。</p>			実績値	<p>NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会開催 1回 環境科学発表会開催 1回</p>
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,762,000	6,303,433				6,303,433

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	4 目	育 英 事 業 費
事業名		育英事業費			単位：円
事業内容	<p>向学心に燃える優秀な学生であるものの、経済的事由により修学困難な者に対し、学資の貸与を行い、有能な人材を育成することを目的とする。</p>			計画値	<p>新規奨学生採用予定 数大学生等 23人 高校生 5人</p> <p>継続奨学生 大学生等 52人 高校生 6人</p>
成果	<p>平成19年度は新たに28人(大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者23人、高等学校又はこれと同程度の学校に在学する者5人)を決定し、継続貸与者58人(大学生等52人、高校生6人)と合わせて、合計86人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。また、平成20年度からは「子育て支援」として、大学生7名、高校生3名の採用枠を増やすこととなった。</p> <p>貸付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規大学生等 23人 11,040,000円 ・新規高校生 5人 900,000円 ・継続大学生等 52人 24,960,000円 ・継続高校生 6人 960,000円 計 37,860,000円 			実績値	<p>新規奨学生採用予定 数大学生等 23人 高校生 5人</p> <p>継続奨学生 大学生等 52人 高校生 6人</p>
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
37,993,000	37,990,840			36,932,742	1,058,098

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	5 目	公 舎 管 理 費
事業名		公舎管理費			単位：円
事業内容	<p>市立小中学校教職員の居住の用に供する公舎の管理及び使用に関し修繕などの必要な事務を行う。</p>			計画値	教職員住宅12棟
成果	<p>教員住宅の適正な維持修繕を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 249,813円（4棟） ・工事費 119,700円（火災警報機設置工事） ・火災保険料等 111,480円 			実績値	教職員住宅12棟 (19年度入居 11棟)
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
574,000	519,545			519,545	

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		小学校一般管理費			単位：円
事業内容	市内小学校の運営に必要な事務を行う。			計画値	小学校 11校 学級数 76学級 児童数 1,552人
成果	市内小学校の健全な運営が行われた。 人件費 47,458,436円 需用費 51,872,150円 役務費 6,967,378円 委託料 7,600,230円 使用料等 6,677,449円			実績値	小学校 11校 学級数 76学級 児童数 1,552人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
125,437,000	121,208,923				121,208,923

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（一般）（小学校）			単位：円
事業内容	市内小学校の校舎などの維持管理を図る。			計画値	対象施設：小学校11校
成果	市内小学校の校舎などの破損等に対し必要な維持修繕を行い、学習環境の健全化に努めた。 ・修繕料 2,531,753円 ・手数料 297,345円 ・委託料 1,967,700円 ・原材料費 143,692円 ・備品購入費 492,330円（遠野小学校、土淵小学校ストーブ購入） ・計 5,432,820円			実績値	対象施設：小学校11校
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,486,000	5,432,820				5,432,820

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（単独）（小学校）			単位：円
事業内容	【平成18年度繰越分】 1 遠野小学校プールサイド改修工事 【平成19年度分】 1 上郷小学校プールろ過器取替工事 2 小友小学校トイレ改修工事ほか 3 鱒沢小学校油汚染土処理工事及び給油設備改修工事ほか			計画値	【平成18年度繰越分】 ・遠野小学校のプールサイド改修 【平成19年度分】 ・上郷小学校のプールろ過器取り替え ・小友小学校のトイレ改修
成果	【平成18年度繰越分】 遠野小学校のプールろ過器取替（平成18年度完了）と老朽化したプールサイドを改修することにより、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。 1 遠野小学校のプールサイド改修工事 7,106,400円 【平成19年度分】 上郷小学校のプールろ過器取替、小友小学校のトイレ改修、また鱒沢小学校の地下灯油タンクからの油漏れによる処理と新たな給油設備の設置により、教育財産の適正な維持管理を図った。 1 上郷小学校のプールろ過器取替工事 5,806,500円 2 小友小学校トイレ改修工事ほか 1,641,990円 3 鱒沢小学校油汚染土処理工事及び給油設備改修工事ほか 3,176,250円			実績値	【平成18年度繰越分】 ・遠野小学校のプールサイド改修 【平成19年度分】 ・上郷小学校のプールろ過器取り替え ・小友小学校のトイレ改修ほか ・鱒沢小学校の油汚染土処理及び給油設備改修ほか
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,749,000	17,731,140		5,500,000		12,231,140

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名					学校保健管理費（小学校）	単位：円
事業内容	児童、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健教育と保健管理の活動を円滑に行う。				計画値	児童数 1600人 教職員数 150人
	成果	児童及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育の充実に寄与した。 心臓検診（1・4年生対象） 498人 生活習慣病予防健診（4年生対象） 259人 尿検査（全学年対象） 1,567人 教職員健診 130人 教職員胃検診 94人				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
8,763,000		8,276,534		19,000		8,257,534

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名					小学校施設耐震診断調査費	単位：円
事業内容	平成18年度繰越事業。平成18年度に実施した市内小学校の校舎及び屋内運動場の耐震診断結果を（財）岩手県建築住宅センター（第三者機関）に判定依頼する。 耐震診断実施校 ・遠野小学校、附馬牛小学校、土淵小学校（校舎・屋内運動場） ・達首部小学校（屋内運動場） ・鱒沢小学校（校舎）				計画値	対象校 5校8施設
	成果	判定の結果、遠野小学校（校舎）、鱒沢小学校（校舎）、土淵小学校（屋内運動場）の3校3施設が補強設計が必要とされた。				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
1,487,000		1,213,537				1,213,537

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名					特別支援教育関係費（小学校）	単位：円
事業内容	特別支援学級及びことばの教室の活動支援を行う。				計画値	特別支援学級 対象校：6校 対象児童：16人 ことばの教室通学費補助 対象児童：16人
	成果	特別支援学級に対する消耗品費、印刷製本費の配当とともに、「ことばの教室通学費補助金」を11名（60,880円）に支給し、活動の支援を行った。				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他 一般財源
681,000		540,037				540,037

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		通学対策費（小学校）			単位：円
事業内容	1 小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校に通学する児童を対象にスクールバスやスクールワゴンを運行する。 2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に早池峰バスに運行を委託する。 3 上郷小学校、青笹小学校に通学する児童を対象にタクシーを運行する。 4 宮守小学校、達首部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象にスクールバス			計画値	・スクールバス・ワゴン等の運行(バス6台、ワゴン3台) ・遠距離通学費補助金 対象児童：41人
成果	遠距離通学児童のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、交通機関の利用や徒歩の遠距離通学児童に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ・小友、土淵小スクールバス委託料 4,620,000円 ・土淵、附馬牛小スクールワゴン委託料 2,672,350円 ・早池峰バス委託料 1,925,732円 ・上郷、青笹小学校スクールタクシー委託料 860,250円 ・宮守、達首部、鱒沢小学校スクールバス委託料 6,650,175円 ・遠距離通学補助金 290,400円 等			実績値	・スクールバス・ワゴン等の運行(バス6台、ワゴン3台) ・遠距離通学費補助金 対象児童：41人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
22,395,000	21,893,514				21,893,514

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		教材整備費（小学校）			単位：円
事業内容	各小学校運営のために必要な教材用備品、図書購入、パソコンリースなどの整備を行う。			計画値	教材備品購入 図書購入 パソコンリース(308台)
成果	各小学校において必要な教材を整備し、教育環境の充実を図った。図書購入においては普通交付税措置額を上回る予算措置を行い、パソコンリースにおいては更新に併せて教員への公用パソコン配置も計画的に実施した。 ・教材備品購入費 2,191,625円 ・図書購入費 2,985,361円 ・パソコンリース料 18,046,564円 等			実績値	教材備品購入 図書購入(2,031冊) パソコンリース(308台)
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
23,916,000	23,386,630				23,386,630

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		就学援助費（小学校）			単位：円
事業内容	経済的理由によって、就学困難な児童の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給児童数 87人
成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 105人 1,465,184円 校外活動費 17人 43,720円 新入学用品費 8人 159,200円 修学旅行費 28人 626,313円 通学費 3人 13,336円 学校給食費 105人			実績値	支給児童数 105人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,800,000	6,723,548				6,723,548

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		特別支援教育就学奨励費（小学校）			単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給児童数 12人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 13人 281,775円 学用品費 11人 72,150円 修学旅行費 2人 20,600円 新入学用品費 2人 19,900円 校外活動費 1人 1,735円 通学用品費 11人 11,935円			実績値	支給児童数 13人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
409,000	408,095	125,000			283,095

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		指導用教材整備費			単位：円
事業内容	小学校教師用教科書、指導書等の整備を行う。			計画値	教師用教科書 80冊 指導書 11冊
成果	教師用教科書、指導書等の整備を行い、学校教育の充実に寄与した。			実績値	教師用教科書 43冊 指導書 11冊
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
158,000	140,140				140,140

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		特別支援教育就学奨励費（小学校）			単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給児童数 12人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 13人 281,775円 学用品費 11人 72,150円 修学旅行費 2人 20,600円 新入学用品費 2人 19,900円 校外活動費 1人 1,735円 通学用品費 11人 11,935円			実績値	支給児童数 13人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
409,000	408,095	125,000			283,095

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		小学校複式学級支援事業			単位：円
事業内容	複式学級における学習指導補助員の配置。1年生を除く連続する2学年で16人以下の場合、複式学級となり、平成19年度から小友、鱒沢小学校が該当する。小友小学校については県の「すこやかサポート推進事業」で加配対応となるが、鱒沢小学校は該当しないことから学習指導補助員を配置する。			計画値	小学校複式学級支援 学習指導補助員1名
成果	学習補助員を配置することにより、複式学級において担任を補助し、児童に対してきめ細かい指導を行うことができた。			実績値	小学校複式学級支援 学習指導補助員1名
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,610,000	2,488,956				2,488,956

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費
事業名		教育研究指定校費（小学校）			単位：円
事業内容	鱒沢小学校、遠野北小学校に研究指定を行う。鱒沢小学校は平成18年度から研究指定を行い、2年目の今年度は学校公開を行い、研究の成果を市内はもとより県内の学校に対して発表する。 また、遠野北小学校は指定の1年目で算数の研究指定を行う。			計画値	研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回
成果	鱒沢小学校については学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の小学校にも還元することが出来た。 遠野北小学校は1年目の研究の成果として研究報告書をまとめた。また、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。			実績値	研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
263,000	230,554				230,554

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費
事業名		文化行事奨励費			単位：円
事業内容	市内小学校音楽祭の開催、市内小中学校作品展の開催、小中学校作文コンクールを実施する。作文コンクールでは入賞作品を集めた児童生徒文集遠野を発行する。			計画値	音楽祭の開催 1回 作品展の開催 1回 作文コンクールの開催 1回 文集の印刷製本 250冊
成果	小学校音楽祭は遠野テレビで放送することで、より多くの市民に対して視聴する機会を与えることが出来た。 作品展、作文コンクールについては多くの児童生徒の応募の中から優秀作品に対して表彰をおこない、最優秀作品（小6、中3）については教育文化奨励賞への推薦も行った。また、作品展についてはほとぼりに展示することによりより多くの市民に見てもらうことができた。			実績値	音楽祭の開催 1回 作品展の開催 1回 作文コンクールの開催 1回 文集の印刷製本 250冊
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
647,000	603,762				603,762

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費		
事業名					体育・文化行事奨励費（小学校）	単位：円	
事業内容 成 果	小学校体育協会に対して事業補助を行い、市内小学校の体育事業に対して支援を行う。			計画値	事業補助 1団体		
	市内水泳記録会、陸上記録会の開催を支援することができた。			実績値	事業補助 1団体		
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
693,000		693,000					693,000

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	3目	学 校 建 設 費		
事業名					上郷小学校改築整備事業費	単位：円	
事業内容 成 果	校舎及び屋内運動場の改築 平成15年度 基本設計 平成16年度 実施設計、低学年棟解体工事ほか 平成17・18年度 校舎及び屋内運動場の改築工事、旧校舎解体工事、外構工事ほか 平成19年度 旧屋内運動場の解体工事ほか			計画値	・旧屋内運動場解体工事		
	旧屋内運動場の解体工事、敷地内に付設する児童館前の整地工事を行い、上郷小学校改築整備事業のすべてが完了し、教育環境の充実が図られた。 平成19年度事業費 旧屋内運動場解体費等 17,073千円 全体事業内容 校舎（1期工事及び2期工事） 規模 延床面積 3,107㎡ 構造 木造（大断面集成材）一部鉄筋コンクリート造2階建 屋内運動場 規模 延床面積 900㎡ 構造 木造（大断面集成材）一部鉄筋コンクリート造1階建			実績値	・旧屋内運動場解体工事 ・その他（児童館前整地工事）		
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,100,000		17,073,000					17,073,000

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	3目	学 校 建 設 費		
事業名					綾織小学校改築整備事業費	単位：円	
事業内容 成 果	校舎の改築 平成18年度 基本構想策定【平成19年度に繰越】 平成19年度 基本計画、基本設計【平成20年度に繰越】 平成20年度 実施設計 平成21・22年度 校舎改築工事			計画値	【平成18年度繰越分】 基本構想策定 【平成19年度分】 基本計画、基本設計		
	平成19年7月13日、屋内運動場及び特別教室を中学校と共用する綾織小学校改築基本構想を策定する（平成18年度繰越分）。その後、地域との協議を進め、平成20年1月30日から基本計画、基本設計業務に着手するも、年度内での履行が困難なことから、平成20年度に事業繰越した。			実績値	【平成18年度繰越分】 基本構想策定		
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,900,000		1,772,400					1,772,400

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 管 理 費	
事業名					遠野北小学校大規模改造等事業費	単位：円
事業内容	老朽化した校舎の大規模改造、屋内運動場の改築等により、教育環境の整備を進める。 校舎大規模改造 平成18年度 耐震診断 平成19年度 実施設計 平成20・21年度 大規模改造 校舎面積 3,319㎡			計画値	遠野北小学校校舎の大規模改造実施設計	
成果	事業計画に基づき、平成19年度において実施設計を行った。 (遠野北小学校校舎大規模改造実施設計委託料 9,450,000円)			実績値	遠野北小学校校舎の大規模改造実施設計	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
9,500,000	9,450,000				9,450,000	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名					小学校施設耐震補強事業費(単独分)	単位：円
事業内容	平成18年度に実施した耐震診断の結果、補強が必要と判定された3小学校の耐震補強設計を実施する。 ・遠野小学校(校舎) ・鱒沢小学校(校舎) ・土淵小学校(屋内運動場)			計画値	耐震補強設計対象校 3校	
成果	耐震診断の判定結果に基づき、平成19年12月補正で耐震補強設計委託料及び判定手数料の予算措置するも、年度内での履行が困難なことから平成20年度に事業繰越した。			実績値	耐震補強設計対象校 3校	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
6,150,000	0				0	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名					中学校一般管理費	単位：円
事業内容	市内中学校の運営に必要な事務を行う。			計画値	中学校 8校 学級数 35学級 生徒数 863人	
成果	市内中学校の健全な運営が行われた。 人件費 46,147,215円 需用費 46,576,297円 役務費 5,011,265円 委託料 5,986,193円 使用料等 4,140,462円			実績値	中学校 8校 学級数 35学級 生徒数 863人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
109,578,000	107,861,432				107,861,432	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		校舎等維持管理費（一般）（中学校）			単位：円
事業内容	市内中学校の校舎などの維持管理を図る。			計画値	対象施設：中学校 8 校
成果	市内中学校の校舎などの破損等に対し必要な維持修繕を行い、学習環境の健全化に努めた。 修繕料 1,861,529円 手数料 297,304円 委託料 2,119,950円 原材料費 147,770円			実績値	対象施設：中学校 8 校
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,437,000	4,426,553				4,426,553

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		学校保健管理費（中学校）			単位：円
事業内容	生徒、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健教育と保健管理の活動を円滑に行う。			計画値	生徒数 900人 教職員数 110人
成果	生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育の充実に寄与した。 心臓検診（1年生対象） 286人 生活習慣病予防健診（1年生対象） 286人 貧血検査（1年生対象） 286人 脊柱側弯検査（1年生対象） 287人 教職員健診 98人 教職員胃検診（35歳以上） 61人			実績値	生徒数 872人 教職員数 98人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
6,313,000	5,614,807	16,000			5,598,807

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費
事業名		中学校施設耐震診断調査費			単位：円
事業内容	平成18年度繰越事業。平成18年度に実施した市内中学校の校舎及び屋内運動場の耐震診断結果を（財）岩手県建築住宅センター（第三者機関）に判定依頼する。 耐震診断実施校 ・小友中学校（校舎・屋内運動場）			計画値	対象校 1校 2施設
成果	判定の結果、耐震性が劣る建物はなかった。			実績値	対象校 1校 2施設
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
263,000	262,500				262,500

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費		
事業名					教材整備費（中学校）	単位：円	
事業内容	各中学校運営のために必要な教材用備品、図書購入、パソコンリースなどの整備を行う。				計画値	教材備品購入 図書購入 パソコンリース(273台)	
成果	各中学校において必要な教材を整備し、教育環境の充実を図った。図書購入においては普通交付税措置額を上回る予算措置を行い、パソコンリースにおいては更新に併せて教員への公用パソコン配置も計画的に実施した。 ・教材備品購入費 1,590,265円 ・図書購入費 2,898,794円 ・パソコンリース料 15,807,112円 等				実績値	教材備品購入 図書購入(1,834冊) パソコンリース(273台)	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
20,714,000		20,573,197					20,573,197

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費		
事業名					特別支援教育就学奨励費（中学校）	単位：円	
事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施に努める。				計画値	支給生徒数 9人	
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 8人 200,600円 学用品費 8人 86,800円 修学旅行費 3人 83,850円 新入学用品費 1人 11,450円 校外活動費 0人 0円 通学用品費 7人 7,595円				実績値	支給生徒数 8人	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
450,000		390,295		119,000			271,295

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費		
事業名					通学対策費（中学校）	単位：円	
事業内容	1 宮守中学校に通学する旧達曽部中学校学区及び旧鱒沢中学校学区の生徒を対象にスクールバスを運行する。 2 遠距離通学生徒に対し通学費の助成をする。 3 教育課程における生徒移動のため、スクールバスを運行する。				計画値	・スクールバスの運行 (3台) ・遠距離通学費補助金 対象生徒：38人	
成果	遠距離通学生徒のため、スクールバスの運行を行い、通学難の解消を図った。また、交通機関利用や徒歩の遠距離通学生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ・宮守中学校スクールバス委託料 5,897,325円 ・遠距離通学費補助金 273,600円 ・スクールバス特別運行委託料 403,200円 等				実績値	・スクールバスの運行 (3台) ・遠距離通学費補助金 対象生徒：38人	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
7,984,000		7,857,302					7,857,302

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育関係費（中学校）				単位：円
事業内容	特別支援学級の活動支援を行う。				計画値	特別支援学級 対象校：4校 対象生徒：9人
成果	特別支援学級に対する消耗品費及び印刷製本費を配当し、活動の支援を行った。				実績値	特別支援学級 対象校：4校 対象生徒：9人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
234,000	186,012				186,012	

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		就学援助費（中学校）				単位：円
事業内容	経済的理由によって、就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。				計画値	支給生徒数 67人
成果	就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 78人 1,939,877円 校外活動費 73人 36,500円 新入学用品費 25人 526,700円 修学旅行費 23人 1,768,461円 通学費 5人 35,335円 学校給食費 77人				実績値	支給生徒数 78人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,402,000	8,316,641				8,316,641	

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		指導用教材整備費（中学校）				単位：円
事業内容	中学校教師用教科書、指導書等の整備を行う。				計画値	教師用教科書 8冊
成果	教師用教科書、指導書等の整備を行い、学校教育の充実に寄与した。				実績値	教師用教科書 10冊
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
63,000	6,907				6,907	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		教育研究指定校費（中学校）				単位：円
事業内容	遠野中学校の教育課程全般に関する研究指定を行った。				計画値	研究指定校 1校
成果	遠野中学校については次年度の学校公開に向けて研究体制の確立、研究を行うとともに、研究のまとめを作成した。				実績値	研究指定校 1校
予算額		決算額		財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
80,000		50,000			50,000	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（中学校）				単位：円
事業内容	中学校体育連盟事業への補助、及び県大会、全国大会等への選手派遣についての助成を行う。 また、中学校文化連盟に対する補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。				計画値	事業補助 2団体
成果	中学校体育連盟は市内地区大会の開催に係る事業支援を行った。また、各競技で県大会、東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費の補助を行うことで中学生の部活動の支援を行うことができた。 中学校文化連盟に対しても事業補助を行い、市内中文祭開催をはじめ、各種文化活動の支援を行うことができた。また、全国中文祭に出場した土淵中学校に対しても補助を行い、活動を支援した。				実績値	事業補助 2団体
予算額		決算額		財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,410,000		3,250,000			3,250,000	

10 款	教 育 費	4 項	幼 稚 園 費	1 目	幼 稚 園 費	
事業名		幼稚園運営事業費				単位：円
事業内容	教育基本法・学校教育法・幼稚園教育要領等の示すところに従って幼児の教育を行う。 教育目標：「心も体も生き生きとした子ども」 ・健康で元気な子 ・よく感じ、よく考える子 ・思いやりのある子 ・自然に親しむ子				計画値	宮守幼稚園 鱒沢幼稚園 達曽部幼稚園 開園延日数 690日 就園延児童数 480名
成果	教育目標に従い、幼児期に身に付けさせたい基本的な生活習慣と、体を動かす楽しさを子ども自身が獲得していけるように指導した結果、子ども達も興味を持って取り組むようになった。				実績値	宮守幼稚園 鱒沢幼稚園 達曽部幼稚園 開園延日数 690日 就園延児童数 434名
予算額		決算額		財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,665,000		5,140,084		5,110,750	29,334	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事 業 名		社会教育一般事務費			単位：円
事業内容	1 社会教育事業の運営に係る一般事務 2 岩手県更生保護協会事業補助 3 加盟団体（全国生涯学習市町村協議会、岩手県社会教育連絡協議会）に対する負担金 4 職員人件費等			計画値	補助金・負担金 3 件
	1 社会教育一般に係る事務を行い、内部事務の円滑な運営を行った。 2 岩手県更生保護協会事業に補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取り組みを支援した。			実績値	補助金・負担金 3 件
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
55,509,000	55,177,192				55,177,192

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事 業 名		生涯学習のまちづくり推進費			単位：円
事業内容	市民センター及び地区センターの生涯学習事業の推進、学びの出前講座などを開催する。 市民センター生涯学習事業の推進、学びの出前講座など学級講座及び各地区センター或いは複数の地区が連携して行う学級・講座の開催 民話のまち遠野ウォーキング大会の開催			計画値	学級講座開催 60回 受講者数 3,940人
	市民センター及び各地区センターで生涯学習講座を61講座開催し、学習機会の提供とその奨励を図ることができた。 地区センター講座 54講座（2,442名） 市民センター講座 7講座（485名）			実績値	学級講座数 61回 受講者数 2,927人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,700,000	1,084,959	0		0	1,084,959

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		青少年活動サポート事業費			単位：円
事業内容	<p>本年度の青少年活動サポート事業については、下記の4つの柱とする活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式「はたちのつどい」 主役となる新成人が成人式実行委員会を立上げ、企画・立案及び式の進行をすることで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出をお祝いする ・少年少女囲碁・将棋教室 余暇時間について、子どもたちが有意義に過ごせる場所の提供と囲碁・将棋の対局を通して他校の児童・生徒との交流、指導者との交流することで、より幅広い体験の機会を設け、集中力等を向上させるができ、指導者についても老人囲碁クラブの方々や将棋の協会の方による地域の人々の協力で市民協働を図ることができる。 ・各種団体への補助及び補助金交付 こどもまつりを開催する「遠野こどもまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、こどもまつり開催の支援及び「遠野市青少年を育てる市民会議」では、青少年の健全育成のための種々の活動を支援を図 			計画値	成人式参加者 300人
					囲碁・将棋教室 囲碁の部20人、将棋の部10人、合計30人
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式（はたちのつどい） 実行委員を立上げたことで、自分達が考えたイベントを行うことで記念にもなり、行政がアドバイスすることで「市民協働」の成人式をおこなうことが出来た。 成人者282名（市内198名、市外84名）、参加率88.7%、来賓100名、一般280名、職員・青年会40名・・・総計702名 ・少年少女囲碁・将棋教室 年間活動9回を通して、将棋の登録者24名中で皆勤者4名に準皆勤賞3名、囲碁の登録者10名中で皆勤者2名に準皆勤賞3名であり、活動については、ほぼ計画通りである。また、今年度から名札を個々に配ったり、名札の裏に実施日を記載したりなど、参加しやすい工夫をした。 ・各種団体への補助及び補助金交付 遠野こどもまつりとして産業まつりと共同開催となったが、運動公園のスペースを有効に使い、大人が興味をひくことと子どもが楽しめる場所が出来たことで、うまく相乗効果を図ることができたと考えられ 			実績値	成人式参加者 市内198人、市外84人、合計282人(参加率88.7%)
					囲碁・将棋教室 囲碁の部24人、将棋の部10人、合計34人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
2,159,000	2,041,347				2,041,347

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
事業名		芸術文化振興事業費			単位：円
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行う い、活動の発表の機会と場の提供に努める。 2 遠野物語ファンタジーに代表される郷土の優れた芸術文化を振興し、 潤いのある市民生活の創造に努める。 3 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努 			計画値	芸術文化協会加盟団体の自主事業数 8回
					市民協働の自主事業の参加者数 1,720人
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 17団体が発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。 2 第33回公演「ママ娘のおかん」を開催し、約370人の参加者が協力し あい素晴らしい舞台を作り上げることができた。 3 わらび座ミュージカル「義経」や因幡晃コンサート、松竹特別公演を行い、約1,400人の方々に優れた音楽、演劇に触れる機会を提供した。 			実績値	芸術文化協会加盟団体の自主事業数 17回
					市民協働の自主事業の参加者数 2,761人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
24,979,000	23,078,430			20,567,900	2,510,530

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名					と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	単位：円
事業内容	個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン 遠野市男女共同参画基本計画」について市民への普及啓発を行う。			計画値	男女共同参画サポーター認定取得者 1名 仮想と・お・の市議会開催に係る研修会等 18回	
成果	意識啓発活動であることから、多様な機会を捉え、さまざまな団体と連携して取り組むことができた。 ・男女共同参画推進事業「仮想と・お・の市議会」開催(15名) ・男女共同参画関係研修へ人材派遣 = 男女共同参画サポーター養成講座(1名) ・ハートフルステージ～音楽で「人権」を考える集い の開催(150名)			実績値	男女共同参画サポーター認定取得者 1名 仮想と・お・の市議会開催に係る研修会等 18回	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
612,000	467,504				467,504	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名					家庭教育支援総合推進事業	単位：円
事業内容	家庭における教育力の低下が叫ばれていることから「すこやか子育て教室」「家庭教育ゼミナール」など家庭教育に関する学習機会の提供と充実を図る。 ・「すこやか子育て教室」3回・受講者 62人 ・「家庭教育ゼミナール」市内12会場・参加者949人 ・連携事業の開催...遠野市妊産婦教室 / 遠野健康福祉の里			計画値	家庭教育ゼミナール開催 14回 家庭教育ゼミナール参加者 1,000人 すこやか子育て教室開催 3回 家庭教育講演会 1回	
成果	・父親の家庭教育参加促進事業「すこやか子育て教室」を地域子育て支援センターと連携し、講座を通して父親の育児への積極的な参加を促す機会を提供した。 ・当課の事業の一つである「地域で子供を育てる活動発表会」の中で岩手大学教育学部教授による家庭教育講演会を実施し、多くのPTAに家庭教育について学習機会を提供することができた。			実績値	家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 949人 すこやか子育て教室3回 62名 家庭教育講演会 1回	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
535,000	278,605				278,605	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		学社連携プログラム推進事業費				単 位 : 円
事業内容	<p>本年度の学社連携プログラム推進事業については、下記の4つの柱とする活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女ふるさと発見探偵団 市内の異地域・異年齢の子どもたち(小学4～6年生)が、郷土の自然や歴史を楽しく学びながら、共に様々な体験活動を通して、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係や社会の規範を守る子どもの育成を図ることで年7回の活動を実施。 ・子ども活動サポーター 規律のある団体行動が行えるよう声かけや子どもたちに危険が無いように見守ること、諸々の子どもたちの相談に応じて貰う事とともにサポーター自ら指導者としての学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての向上を図る。 ・教育振興運動モデルプログラム 児童館・学校・地域と連携し放課後子ども教室及びおさらい教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに子どもたちの自主学習の仕方や習慣化の契機作りを図る。 ・子ども寺子屋放送局 自ら学ぶ意欲の向上を目的とし、紙芝居を作成、遠野テレビを活用して映像化し放送した。 				計画値	少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数 7回 登録団員 40人 延べ参加人数 280人
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・少年少女ふるさと発見探偵団 登録団員が24人、年間を通して第1～7回の活動を行い、延べ参加団員が135人(保護者参加が延べ13人)であった。 ・子ども活動サポーター 一般・岩手大学及び市内高校からボランティアを募集して登録者60人。ふるさと発見探偵団の活動やこどもまつりに延べ80人の参加があった。 ・教育振興運動モデルプログラム 放課後こども教室は4方式を4小学校区試行開催し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣し4教室で延べ133回実施した。 おさらい教室は長期休暇を利用して、学習の場をつくった。 ・子ども寺子屋放送局 春の放送については、小学校の社会科副読本に掲載されている「見つめよう わたしたちの遠野 郷土を開いた人を調べよう。」に掲載されている郷土の偉人を紙芝居の形式で4話作成し、遠野テレビを通 	実績値 少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数7回 登録団員24人 延べ参加人数135人 放課後子ども教室 4教室(小学校区)			
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,582,000	1,527,640	638,000			889,640	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------

事 業 名		公民館一般管理費				単 位 : 円
事業内容	<p>地区センター施設の適正な維持管理を行った。</p>				計画値	公民館使用料 700,000円 平成18年度実績 利用件数3,457件 利用人数64,1554人
	成果	<p>施設を適正に維持管理したことにより、人身事故等もなく施設の提供ができた。 地域活動、生涯学習の場として、地域住民が集い、地域づくり活動や学習活動に利用された。</p>				実績値 公民館使用料 1,120,471円 平成19年度実績 利用件数3,551件 利用人数70,513人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
81,547,000	77,264,792			1,120,471	76,144,321	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費
事業名		文化交流施設管理費			単位：円
事業内容	人と自然がふれあいながら、郷土に伝わる様々な芸術文化の発信と生涯学ぶこころの育成や多様な交流の促進のための拠点施設として、市民サービスの提供に資するために効率的な運営に努めた。 また、7月からは管理を指定管理者へ移行し、民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用して更なるサービスの拡大を図った。			計画値	施設利用者数 12,000人
	施設の適正な維持管理に務めたことで、市民の憩いの場、市内外の各種団体の活動・交流場所として積極的に利用された。 また、指定管理者への移行で、発表会・演奏会等では舞台操作を熟知した専門スタッフが充実したサービスを提供し、利用者・来場者からは好評であった。			実績値	・施設利用件数 567件 ・施設利用者数 13,825人
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,744,000	17,038,753				17,038,753

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費
事業名		図書館・博物館一般管理費			単位：円
事業内容	利用者が安心して利用することができるように、図書館博物館の維持管理のために必要な業務を行う。 職員の人件費、光熱水費、通信費用の支払。施設の修繕。 必要な消耗品、燃料の購入。各施設の火災保険加入。 警備、清掃及び各種保守点検の委託、複写機等の借り上げ等を実施。			計画値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回 ボイラ整備点検1回 空調機器点検3回 油タンク点検清掃1回 エレベーター点検12回
	図書館博物館の維持管理に務め、利用者が安心して利用できる環境を整えることができた。 図書館カーペット張替、図書館カウンター修理、館内照明器具取替、ガラスフィルム張替、クーリングタワー破損漏水修繕。 館内清掃業務12ヶ月、夜間警備業務12ヶ月。 エレベーター保守点検12回、空調機器点検1回、油タンク点検1回、自動ドア点検3回、消防設備点検1回、ボイラ整備点検1回、照明音響映像機器点検12回、電気点検6回。			実績値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回 ボイラ整備点検1回 空調機器点検3回 油タンク点検清掃1回 エレベーター点検12回
予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
82,058,000	80,852,163				80,852,163

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名		図書館費			単位：円	
事業内容	市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理して図書資料の貸出し、読書相談、参考業務など読書活動の推進を図る。特に「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、生きる力に満ちた明るく元気で行動力のある「遠野っ子」の育成を目指す。 このことにより、学校・家庭・地域との役割を認識し、連携、協力して読書に親しむ環境の整備と充実に努め、また読書に関する理解と関心を深める啓発活動を推進する。			計画値	図書館の利用者数18,000人 蔵書冊数171,400冊 市民への図書貸出冊数74,000冊 移動図書館車の貸出冊数5,600冊 学校図書館への貸	
	成果	・図書館教室の開催(小学校7校)・多読者表彰の推進(2回)・調べ学習による図書貸出(小中学校7校)・テーマ別図書展の開催(10回)・ブックスタート(読み聞かせ等)の開催(12回)・読み聞かせの広場(12回)・移動図書館車の巡回運行(全地区対象)・施設貸出文庫の推進(小学校10校) また、コンピュータによる図書館総合情報システムを整備したことにより、図書館の利用者(前年対比7,629人:44%増)が増大した。			実績値	図書館の利用者数25,141人 蔵書冊数173,168冊 市民への図書貸出冊数110,291冊 移動図書館車の貸出冊数7,037冊 学校図書館への貸出冊数11,805冊
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
22,660,000	22,406,401				22,406,401	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名		博物館費			単位：円	
事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。また特別展・講演会を開催し、研究成果を広く市民に公開し発信する。			計画値	特別展1回 企画展1回 博物館入館者数28,400人 博物館講座等受講者数720人	
	成果	企画展「伊能嘉矩と台湾研究」、特別展「ザシキワラシ」、「遠野遺産」を開催し、遠野の情報を広く市内外に発信した。博物館講座及び博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに答えた。			実績値	特別展1回 企画展2回 博物館入館者数33,481人 博物館講座等受講者数984人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
11,995,000	11,239,525			8,503,026	2,736,499	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名		博物館展示改修事業費			単位：円	
事業内容	『遠野物語』発刊100周年記念事業として遠野市立博物館の展示リニューアルを行う。 平成19年度 展示改装基本計画の策定 遠野の四季盤面交換 平成20年度 展示設計 平成21年度 施工			計画値	1 展示改装基本計画の作成 2 遠野の四季盤面交換	
	成果	平成22年度リニューアルオープンに向けた基本計画を策定したほか、「遠野の四季」の盤面交換を実施し、宮守町の自然をテーマとした写真を追加した。展示内容を充実させたことにより入館者の満足度を高めることができた。			実績値	1 展示改装基本計画の作成 2 遠野の四季盤面交換
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,421,000	8,421,000		1,200,000	7,108,000	113,000	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費		
事 業 名		とおの昔話村管理費				単位：円	
事業内容	とおの昔話村の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社				計画値	開村日数 365日 前年度入館者数 46,913人	
成果	遠野に伝承されてきた昔話等の紹介と継承を通じて、遠野の文化を市内外に発信した。 開村日数 365日 来村者数 55,890人				実績値	開村日数 365日 平成19年度入村者数 55,890人（対前年度 比119.1%）	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
19,399千円		18,871,834				14,615,687	4,256,147

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費		
事 業 名		視聴覚教育振興事業				単位：円	
事業内容	生涯学習時代に対応し得る視聴覚教育のあり方を探求し、地域の視聴覚教育の向上に資するものである。また、県内10地区のライブラリーと連携を図り、視聴覚機材・教材の利用促進、情報提供等に努める。 主要な施策は次のとおり 1 視聴覚ライブラリー事業としての視聴覚機材・教材等の整備及び管理をする。 2 視聴覚機材・教材等の相互貸借の促進及び視聴覚教育の情報提供する。				計画値	機材の貸出数50個 教材の貸出数60本 親と子の映画会12回 教材選定試写会1回 特別映画会8回	
成果	視聴覚教育の向上に資した事業が推進された。 ・視聴覚機材及び教材の貸出し ・親と子の映画会の開催（12回） ・教材選定の試写会開催（1回） ・特別映画会の開催（9回）				実績値	機材の貸出数84個 教材の貸出数80本 親と子の映画会12回 （観賞者152人） 教材選定試写会1回 （教材選定14本） 特別映画会9回 （観賞者476人）	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
987,000		942,799					942,799

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費		
事 業 名		遠野物語研究所運営事業費				単位：円	
事業内容	遠野物語研究所は「設立の趣旨」を推進するための拠点となるものであり、遠野市はその業務を委託した。 ・設立の趣旨＝「民話のふるさと」「民俗学発祥の地」を標榜し築いてきた文化の基盤を一層強固なものとする。行政と民間の協調により『遠野物語』を中心とした歴史民俗文化の調査研究を深め市民文化としての普及を図る。また、遠野来訪者に対する研究支援などを行う。民間研究団体を中心に市民が多数参加できる文化活動を展開するなど市の活性化に努める。				計画値	遠野物語教室開催18回 参加者 300人 遠野物語ゼミナル開催2回 参加者85人 遠野学会1回 50人	
成果	遠野物語研究所運営事業（委託）の「設立の趣旨」に沿った事業が推進された。 ・『遠野物語』教室開催（8回） ・昔話教室開催（11回） ・『遠野物語』ゼミナル2007開催（6/2東京会場 8/24,25遠野会場） ・第12回遠野学会開催 ・「遠野物語通信第24号」「遠野物語研究第11号」の編集発行（各1,000部）「老嫗夜譚」出版（2,000部）				実績値	遠野物語教室開催19回 参加者 476人 遠野物語ゼミナル2回 参加者 374人 遠野学会1回 参加者 96人	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,144,000		5,144,000					5,144,000

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					遠野城下町資料館管理費	単位：円
事業内容	遠野城下町資料館の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社				計画値	前年度入館者数 14,098人
成果	遠野南部家1万2千石の城下町である遠野の歴史と文化を市内外に発信した。 入館者数 13,174人				実績値	平成19年度入館者数 13,174人（対前年比 93.4%）
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
4,281,000	4,171,639			901,220	3,270,419	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					遠野蔵の道ギャラリー管理費	単位：円
事業内容	遠野蔵の道ギャラリーの維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先 遠野アドホック株式会社 創作活動室・市民ギャラリーの貸出 おもちゃの貸出				計画値	前年度入館者数 16,175人
成果	市民に芸術文化活動の発表の場を提供することにより、市民文化の向上に貢献した。 入館者数 13,155人				実績値	平成19年度入館者数 13,155人（対前年度 比81.3%）
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,139,000	4,764,708			478,975	4,285,733	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	3 目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					宮守ゆうYOUソフト館管理費	単位：円
事業内容	図書館の分館と位置づけ、市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理し、図書の貸出しを中心に読書活動の推進を図る。また、施設の管理に係る業務を行う。				計画値	利用者数800人 蔵書冊数10,400冊 貸出冊数1,600冊
成果	コンピュータによる図書館総合情報システムを整備したことにより、分館の利用者(前年対比628人:99%増)が増大した。 施設管理:施設警備委託3年、電話機等の賃貸借契約1年等				実績値	利用者数1,263人 蔵書冊数10,461冊 貸出冊数4,337冊
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,087,000	1,765,027				1,765,027	

10 款	教 育 費	項	社 会 教 育 費	目	図 書 館 博 物 館 費	
事業名					移動図書館車更新整備事業費	単位：円
事業内容	図書館から遠隔地の地域にあっても図書館サービスが受けられるよう老朽化した移動図書館車を購入(更新)する。				計画値	移動図書館車 1台
成果	移動図書館車を購入(更新)したことにより遠隔地等における読書活動の推進体制を整備した。 特別仕様：書架棚、コンピュータ搭載台、低いステップ台 後部リフト(車イス用パワーリフト)、バックモニター等				実績値	移動図書館車 1台
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
13,036,000	12,988,609		12,200,000		788,609	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文 化 財 調 査 保 護 費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	遠野市の貴重な文化財の調査・保護・啓蒙活動を通じて文化都市としての資質を高め、市民の文化向上を図る事によって精神的豊かさを提供する。 (1) 指定文化財及び一般文化財の調査・保護啓蒙活動実施 (2) 民俗芸能の保護と育成 (3) 文化的景観の調査・保護				計画値	伝統芸能文化伝承補助金一式 郷土芸能保存育成2件 民俗芸能映像記録1件 文化的景観調査1件 文化財保護審議会1回 市文化財指定1件 国登録文化財2件
成果	<ul style="list-style-type: none"> 国特別天然記念物カモシカ滅失処理24件 民俗芸能映像記録1件 伝統芸能文化伝承補助3団体、郷土芸能保存育成補助2団体 国庫補助事業として文化的景観保存調査を実施した(報告書300部) 国登録文化財2件登録(遠野ふるさと村内曲り家) 国の重要文化的景観1件選定(荒川高原牧場) 文化財保護審議会1回開催、市指定文化財(無形民俗文化財)2件指定 				実績値	伝統芸能文化伝承補助3件 郷土芸能保存育成2件 民俗芸能映像記録1件 文化的景観調査1件 重要文化的景観1件 文化財保護審議会1回 市指定文化財2件
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,363,000	2,867,236	1,000,000			1,867,236	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文 化 財 調 査 保 護 費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	埋蔵文化財は文献に書かれていない遠野市の歴史を知ることのできる貴重な史料であるため、正確な調査、確実な管理が求められる。こうしたことから、市内にある埋蔵文化財包蔵地内及び隣接地で行われる開発に伴う分布調査、工事立会、試掘調査、これまでの発掘調査で出土した膨大な量の遺物、調査記録の整理、管理を行う。 遠野第二ダム建設事業に伴う夫婦石袖高野遺跡の発掘調査及び室内整理・報告書作成を県から受託して実施する。				計画値	調査対象面積 345㎡ 調査報告書 300部
成果	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為に伴う分布調査107件、工事立会4件。試掘調査1件 夫婦石袖高野遺跡発掘調査7月3日～9月13日。 出土遺物室内整理・報告書作成9月14日～3月31日。 縄文時代後期～晩期集落の記録保存が図られた。 				実績値	調査対象面積 345㎡ 調査報告書 300部
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
10,621,000	10,389,327	5,299,350			5,089,977	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費	
事業名					千葉家重要文化財指定整備活用事業費	単位：円
事業内容	文化庁の指導及び学術調査に基づいて資料を作成し、千葉家住宅の国指定重要文化財の指定のための資料を作成し、文化庁に提出する。重要文化財指定後の保全のための自動火災報知機の設置計画を作成する。また、修復に向けて管理活用計画を作成するための検討を行う。				計画値	・主屋及び附属建物の写真撮影、文献資料の調査と資料の作成 ・国重要文化財指定1件 ・自動火災報知機設置
成果	・主屋、大工小屋、土蔵、石蔵、稲荷社、納屋、石鳥居等の写真資料の作成、古文書等の文献資料の調査及び資料整理を行い、重要文化財指定の 附属資料として文化庁に提出した結果、12月に重要文化財に指定された。 ・自動火災報知機設置計画図書の作成を行い、自動火災報知機設置に向けた資料の整備を行った。				実績値	・主屋及び附属建物の写真撮影、文献資料の調査と資料の作成一式 ・国重要文化財指定1件 ・自動火災報知機設置
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,143,000	378,420				378,420	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費	
事業名					遺跡分布調査事業費	単位：円
事業内容	平成17年度から4ヵ年計画で宮守町の遺跡詳細分布調査を実施している。遺跡詳細分布調査を実施して遺跡地図を作成することにより、埋蔵文化財保護の基礎資料を整備しようとするものである。平成19年度は、埋蔵文化財保護の基礎資料を整備するため、鱒沢地区を踏査し、周知の埋蔵文化財包蔵地の場所・範囲の確認、新規遺跡の探索を行い、調査の成果を調査概要報告書にまとめる。				計画値	鱒沢地区分布調査1式報告書 300部
成果	下鱒沢、上鱒沢地区にあるほぼ全ての田畑を踏査して、遺跡の正確な位置を把握することができた。その成果は、開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地有無の照会の際に活用している。				実績値	鱒沢地区分布調査場所、範囲を訂正した遺跡14遺跡 新規発見遺跡43遺跡 合計62遺跡（実施前は20遺跡） 報告書 300部
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,013,000	3,006,432	1,500,000			1,506,432	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進するため、市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し光を当て、遺産をめぐる活動を支援する。活動の支援は、地域生活課との連携により、活動に対する補助金の適用、ふるさと交流課との連携により、現地に表示看板の設置を行う。また、博物館と連携し「遠野遺産展」を開催。				計画値	認定件数 - 30件 リーフレット発行部数 - 4,000部
成果	遺産の公募を2回実施、認定を行った。制度の周知と活動促進のため各地で説明会開催。地域で保護活動の事業実施。広報のため制度説明リーフレットと遺産ガイドブック発行、配布。現地表示看板の設置。 認定件数 - 53件（第1回41件、第2回12件） 広報パンフの発行 - 制度説明用4,000部、遺産周知用8,000部 遠野遺産説明会 - 10回開催 約660延人参加 補助金を活用した活動の実施 - 13事業（地域生活課と連携） 表示板の設置 - 45基（ふるさと交流課の事業と連動）				実績値	認定件数 - 53件 リーフレット発行部数 - 12,000部
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
494,000	442,710				442,710	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
事 業 名		ス ポ ー ツ 健 康 一 般 事 務 費			単 位 : 円
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康課一般事務費 ・スポーツ振興審議会 ・学校開放事業 ・全国市長会損害賠償補償保険 			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興審議会開催 ・学校開放事業実施 ・全国市長会損害賠償補償保険加入
成 果	学校開放事業を行い、市民へ学校体育施設の提供を行った。全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険へ加入。			実 績 値	学校開放事業実施（市内小中学校全校） 全国市長会損害賠償補償保険全市民加入
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
28,495,000	28,355,586			60,900	28,294,686

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
事 業 名		競 技 ・ イ ベ ン ト ス ポ ー ツ プ ロ グ ラ ム 推 進 事 業			単 位 : 円
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・市のスポーツ振興並びに普及活動 ・各種スポーツ教室、子ども教室の開催及び支援 ・各種スポーツイベント開催及び支援 ・遠野市体育指導委員活動 ・町民運動会開催への支援 ・遠野市体育協会並びに遠野市スポーツ少年団本部への補助金交付 			計 画 値	事業補助2団体 各種教室開催 体指定例会6回
成 果	遠野市体育指導委員定例会 7回開催 遠野市体育協会へ補助金交付 遠野市スポーツ少年団本部へ補助金交付			実 績 値	事業補助2団体 各種教室開催 体指定例会7回開催
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15,243,000	14,988,401				14,988,401

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費
事 業 名		ジ ュ ニ ア レ ベ ル ア ッ プ プ ロ グ ラ ム 推 進 事 業			単 位 : 円
事 業 内 容	遠野市の競技スポーツ力向上を図るため、競技種目ごとにジュニアスポーツクラブを育成支援し、さらにクラブの連合による競技型の総合型地域スポーツクラブとして、育成支援、一環指導システムの構築を推進する。			計 画 値	事業補助2団体 養成塾4回 スポーツアドバイザー1回
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校野球部並びに野球スポーツ少年団を対象に、石井野球教室を開催し、少年野球のレベルアップを図った。 4回 20日開催 延べ18チーム参加 ・市内スポーツ少年団、中学校、高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者によるサッカー教室を開催し、競技力の向上を図った。 29回開催 延べ受講者人数1,814人 ・スポーツ少年団並びにジュニアスポーツクラブ等の指導者を対象とした、スポーツリーダー養成塾を開催し、指導者の指導力向上に努めた。 4回開催 延べ受講者数1,020名 ・市内小中学生を対象に、全国トップレベルの指導者を招聘し（スポーツアドバイザー事業）、スポーツレベルの向上を図った。 4回開催 受講者数100名 			実 績 値	事業補助2団体 養成塾4回 スポーツアドバイザー1回
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,342,000	3,254,218				3,254,218

10 款	教 育 費	06 項	保 健 体 育 費	02 目	学 校 給 食 費
事業名		学校給食事業費			単位：円
事業内容	市内小中学校における教育の目標を実現するため、成長期にある児童・生徒に、栄養バランスのとれた食事の提供をすることを通じて、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成、健康増進などの目標を達成し、学校教育に貢献する。 「地産地消」及び「食育」の推進。 学校訪問及び栄養指導。 衛生管理。 給食供給人数2,746人に対して、年間170回の給食を提供する。			計画値	年間供給食数 464,620食 年間一人当たり食数 小170食、中168食 米飯日数 小 130回 中 129回 パン日数 小 40回 中 39回
	地元農畜産物を多く利用した「遠野旬を食べよう給食」等を実施し、地場産品の消費拡大と給食会で児童・生徒と生産者等の交流を行い郷土の食文化や生産される農産物への理解を深める「食育」の推進を図った。 学校栄養職員による学校訪問を各学校年2回(宮守各学級年1回)実施し、学校給食を生きた教材として活用しながら児童・生徒に生活習慣病予防等将来の望ましい食習慣の形成に貢献した。 文科省通達「学校給食衛生基準」等を遵守し計画とおり安全・安心な				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
263,602,000		262,588,428			その他 一般財源
				127,623,552	134,964,876

10 款	体 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費
事業名		体育施設管理費（一般）			単位：円
事業内容	市が所有する体育施設の維持管理を行った。専門的な知識を有する業務については業務委託を行い、簡易な修繕等については直営により経費の削減に努めた。また、施設の環境整備及び破損箇所等の早期更新を促進し、使用料収入の増に努めた。 7月から体育施設管理を指定管理者へ移行し民間活力を生かし、サービスの提供を図った。			計画値	施設利用者数 219,000人
	施設の適正な維持管理に努めた結果、大きな事故等もなく施設の利用提供ができた。 指定管理者移行後は、指定管理者独自のスポーツ教室の開催などサービスの充実が図られた。 施設利用者数については、計画値を若干下回った。				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
81,518,000		77,299,188		0	0
				0	77,299,188

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費
事業名		体育施設管理費（単独）			単位：円
事業内容	不具合が発生し、早期に改修を要する施設の改修工事を実施した。			計画値	計画工事数 2件
	宮守体育館気中開閉器取替え工事 309,750円 36,357円（工事負担金） 市民体育館非常用照明蓄電池交換工事 3,360,000円				実績値
予算額		決算額		財 源 内 訳	
				国県支出金	地方債
3,826,000		3,706,107		0	0
				0	3,706,107

遠野市立中学校再編成検討委員会協議経過及び答申書

開催回	年月日	検 討 内 容	出席委員数
第 1 回	平成19年 6月4日	・委員の委嘱並びに委員長及び副委員長の互選 ・諮問 （学校数、学区設定、校舎位置、校名、再編成時期の5項目） ・市内中学校の現状、課題、検討方向の説明	22名
第 2 回	7月12日	・検討スケジュールについて	20名
	19日 20日	・委員研修会 （市内中学校の現状と課題の理解、検討スケジュールの意見交換）	16名
第 3 回	8月9日	・検討スケジュールの協議及び確認	22名
第 4 回	9月6日	・学校数の協議 （各委員における学校数案は、3校案（17名）5校案（3名） 2校案（3名）1校案（2名）他 複数意見集計	25名
第 5 回	9月30日	・市内8中学校の施設見学	14名
第 6 回	10月12日	・学校数と学区設定の協議	21名
第 7 回	11月9日	・学校数と学区設定の協議 （グループ検討会における検討結果は、1校案（1件）3校案（4件）5校案（1件）の6パターン）	17名
第 8 回	11月29日	・学校数と学区設定の協議及び確認 （全体会において3校案4パターンで、校舎設置位置を検討することを確認）	20名
第 9 回	12月11日	・校舎設置位置の協議	22名
第10回	平成20年 1月17日	・校舎設置位置の協議 （グループ検討会における検討結果は、3校案4パターンの 中学校組合せ案9件のうち、7件は1校で一致、2件は複数意見）	20名
第11回	2月7日	・校舎設置位置の協議 ・3校案4パターンの集約の協議	21名
	3月3日	・座長会議 （次回検討委員会グループ検討会の持ち方について協議）	6名
第12回	3月4日	・学校数、学区設定及び校舎設置位置の答申案確認 （学校数及び学区設定は3校案4パターン、校舎設置位置も 複数答申） ・校名及び再編成時期の協議	21名
第13回	3月14日	・校名及び再編成時期の確認 ・答申書案の検討	19名
	3月24日	・座長会議 （答申書案の方向性を確認）	6名
第14回	3月28日	・答申書案の確認 ・答申	22名

遠野市立中学校再編成についての答申書

1 総括

遠野市立中学校再編成検討委員会は、平成19年6月4日に遠野市教育委員会委員長より、少子化による児童生徒の減少が続く中、中学校の望ましい再編成について諮問を受け、本日の答申に至るまでに14回の検討委員会を開催してきました。

また、中学校再編成は、地域の生活や活動にも深く関係することから、各委員は様々な思いを持ちながらも、それを乗り越えて、真に、遠野市の子どもたちにとって望ましい中学校のあり様を求めて真摯な議論をしてきました。

協議の過程において出た様々な意見や提言については、再編成にあたって配慮すべき事項や答申書資料などをご覧いただき、本答申に至る背景もご理解いただきたいと思います。

少子化による生徒数は、平成19年度 872人で、平成6年度 1,410人に比較し、38.2%に当たる 538人が減少、平成30年度見込 654人に比較し、更に25%の 218人が減少する見通しに

あります。また、10人を割る学年が増え始め、平成30年度には全校生徒が30人前後となる学校が8校中、半分の4校になる状況にもあります。

学校規模の岩手県平均との比較においては、普通学級の1校当たり県平均が7.07学級、1学年2学級以上になっているのに対して、本市は、3.89学級の現状にあります。

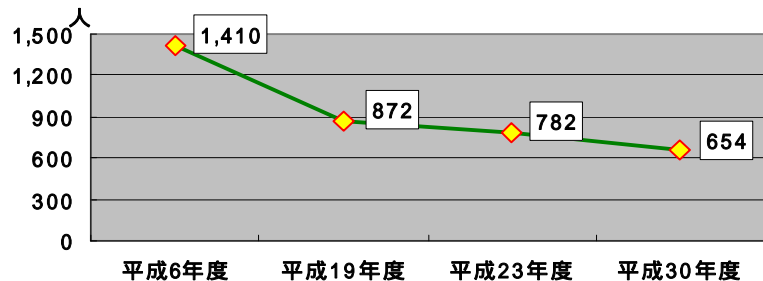
教育の目的は、一人ひとりの人格形成と国家・社会の形成者の育成にあり、中学生という社会人としての基礎を培う重要な発達段階にあっては、多くの集団の中で社会性や協調性を育み、様々な変化にも主体的に対応できる能力を持った自立した人間形成を育む教育環境が何よりも大切であります。

9教科の指導教員体制、部活動や集団活動を充実し、生徒が多くの友人や教職員とふれあい、お互いに切磋琢磨しあい、個性を生かし、個性を伸ばし、確かな学力を身に付け、豊かな心を育み、体を鍛えていくことができる学校規模を確保することが望まれます。

こうした状況下において、中学生の活力あるより良い教育環境を整えるためには、一定規模以上の学校を配置することが必要との認識に立ち、次に掲げる「望ましい学校規模及び設置の基本方向」

- ・ 免許外教員の解消と1学年2学級以上編成できるものとする。（1校当たり配当教員数10人以上及び普通学級6学級以上）
- ・ 男女共5種類以上の部活動を組織できるようにする。
- ・ 片道のスクールバスによる通学時間が60分以内とする。
- ・ 小学校区と中学校区の設定は、整合性を確保する。

を前提に踏まえながら、将来の生徒数の見通し、地域性や学区の歴史等あらゆる角度から、協議を重ねた結果、諮問事項の項目について当検討委員会として以下のとおり答申します。



2 諮問事項

- (1) 学校数については、3校が望ましい。
- (2) 学区設定及び校舎位置については、次の4案を提案するので、更に検証を加えて、成案いただきたい。

案区分	組合せ区分	学区設定	校舎位置
1案	1校目	遠野小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	遠野小学校学区内又は現青笹中学校
	2校目	遠野北小学校、附馬牛小学校及び土淵小学校学区	現遠野中学校
	3校目	綾織小学校、小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
2案	1校目	遠野小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	遠野小学校学区内又は現青笹中学校
	2校目	遠野北小学校、綾織小学校、附馬牛小学校及び土淵小学校学区	現遠野中学校
	3校目	小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
3案	1校目	遠野小学校及び遠野北小学校学区	現遠野中学校
	2校目	綾織小学校、小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
	3校目	附馬牛小学校、土淵小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	現土淵中学校又は現青笹中学校
4案	1校目	遠野小学校、遠野北小学校、綾織小学校及び附馬牛小学校学区	現遠野中学校
	2校目	小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
	3校目	土淵小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	現青笹中学校

- (3) 統合の形態は新設とし、校名については統一性を持った校名とすることが望ましい。
- (4) 再編成の時期については、同時期の再編成を基本としながら、条件が整い次第、速やかに再編成を進めることが望ましい。

3 3校4案の特記事項

3校4案のそれぞれのパターンごとに、優位事項と要検証事項を付記します。

案区分	組合せ区分	学区設定	校舎位置
1案	1校目	遠野小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	遠野小学校学区内又は現青笹中学校
	2校目	遠野北小学校、附馬牛小学校及び土淵小学校学区	現遠野中学校
	3校目	綾織小学校、小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校

【優位事項】

- (1) 免許外教員の解消が可能である。
- (2) 1 学年 2 学級以上、男女共 5 種類以上の部活動の基本方向が確保できる。
- (3) 現遠野中学校を分割することで、生徒数が 200 ~ 300人の同規模な中学校が 2 校できる。
- (4) 片道通学時間60分以内はクリアできる。

【要検証事項】

- (1) 現遠野中学校を分割することになり、再編成実施時点の在校生（1、2年生）を、遠野小学校と遠野北小学校学区にそれぞれ分割する状況も生じる。
- (2) 校舎位置を遠野小学校学区とする場合、新校舎の建設が必要になる。また、用地取得が必要になる。
- (3) 校舎位置を青笹中学校とする場合、普通教室 4 教室が不足し、管理棟、特別教室などのスペースから、新增築が必要になる。
- (4) 現遠野中学校校舎は、耐震上近年中の建替が必要とされることから、この組み合わせでは、1 校建設で済むところが、2 校新築（又は 1 校新築、1 校新增築）という状況が生じる。
- (5) 校舎位置を青笹中学校とする場合、遠野小学区の生徒がスクールバス利用となり、上郷中の生徒と合わせると、8 割のスクールバス利用という状況が生じる。
- (6) 綾織町の一部（宮ノ目及び我ヶ丸地域）は、遠野小学校及び遠野中学校学区になっている歴史がある。

案区分	組合せ区分	学区設定	校舎位置
2 案	1 校目	遠野小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	遠野小学校学区内又は現青笹中学校
	2 校目	遠野北小学校、綾織小学校、附馬牛小学校及び土淵小学校学区	現遠野中学校
	3 校目	小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校

【優位事項】

- (1) 現遠野中学校を分割することで、生徒数が 200 ~ 300人の同規模な中学校が 2 校できる。
- (2) 片道通学時間60分以内はクリアできる。
- (3) 平成27年度までは、免許外教員の解消が可能である。
- (4) 平成27年度までは、1 学年 2 学級以上、男女共 5 種類以上の部活動の基本方向が確保できる。

【要検証事項】

- (1) 現遠野中学校を分割することになり、再編成実施時点の在校生（1、2年生）を、遠野小学校と遠野北小学校学区にそれぞれ分割する状況も生じる。
- (2) 校舎位置を遠野小学校学区とする場合、新校舎の建設が必要になる。また、用地取得が必要になる。
- (3) 校舎位置を青笹中学校とする場合、普通教室 4 教室が不足し、管理棟、特別教室などのスペースから、新增築が必要になる。
- (4) 現遠野中学校校舎は、耐震上近年中の建替が必要とされることから、この組み合わせ

では、1校建設で済むところが、2校新築（又は1校新築、1校新增築）という状況が生じる。

- (5) 校舎位置を青笹中学校とする場合、遠野小学区の生徒がスクールバス利用となり、上郷中の生徒と合わせると、8割のスクールバス利用という状況が生じる。
- (6) 平成28年度から、3校目の組合せ（宮守・小友）で、免許外教員の解消が困難になるとともに、1学年2学級以上、男女共5種類以上の部活動の基本方向が安定的に確保できなくなる。
- (7) 綾織町の一部（宮ノ目及び我ヶ丸地域）は、遠野小学校学区になっており、校舎位置を青笹中学校とする場合、遠野中学校学区の遠野市街地を跨いで青笹中学校に通学することになる。

案区分	組合せ区分	学区設定	校舎位置
3案	1校目	遠野小学校及び遠野北小学校学区	現遠野中学校
	2校目	綾織小学校、小友小学校、宮守小学校、達首部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
	3校目	附馬牛小学校、土淵小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	現土淵中学校又は現青笹中学校

【優位事項】

- (1) 免許外教員の解消が可能である。
- (2) 1学年2学級以上、男女共5種類以上の部活動の基本方向が確保できる。
- (3) 一部増築は生じるが、既存校舎を有効活用できる。（現土淵中学校、現青笹中学校ともに普通教室2教室の不足）
- (4) 遠野中学校（平成23年度：375人）を除く他の2校も200人前後の生徒数となり、ある程度のバランスが図られる。
- (5) 片道通学時間60分以内はクリアできる。

【要検証事項】

- (1) 綾織町の一部（宮ノ目及び我ヶ丸地域）は、遠野小学校及び遠野中学校学区になっている歴史がある。
- (2) 附馬牛中学校にあっては、遠野中学校学区の松崎を跨いで通学することになる。
- (3) 附馬牛町から上郷町までの学区設定により、通学距離の関係で、校舎位置は土淵中学校と青笹中学校の2校が選択されている。

案区分	組合せ区分	学区設定	校舎位置
4案	1校目	遠野小学校、遠野北小学校、綾織小学校及び附馬牛小学校学区	現遠野中学校
	2校目	小友小学校、宮守小学校、達首部小学校及び鱒沢小学校学区	現宮守中学校
	3校目	土淵小学校、青笹小学校及び上郷小学校学区	現青笹中学校

【優位事項】

- (1) 学区の歴史、地域性から再編成の影響が少ない3校案である。
- (2) 小規模な増築又は改造で、現在の校舎を利用できる。（現青笹中学校で普通教室1教室の不足）

- (3) 片道通学時間60分以内はクリアできる。
- (4) 平成27年度までは、免許外教員の解消が可能である。
- (5) 平成27年度までは、1学年2学級以上、男女共5種類以上の部活動の基本方向が確保できる。

【要検証事項】

- (1) 3校の生徒数に差がある。ただし、現状ほどでない。
- (2) 平成28年度から、2校目の組合せ（宮守・小友）で、免許外教員の解消が困難になるとともに、1学年2学級以上、男女共5種類以上の部活動の基本方向が安定的に確保できなくなる。

4 再編成にあたって配慮すべき事項

当検討委員会の協議の過程において、委員から出された意見・提言を、次のとおり再編成にあたって配慮すべき事項としてまとめたので、十分な検討を行い、中学校再編成計画を策定されるよう願います。

- (1) 中学校再編成は、地域との関わりが深く、地域の理解が得られることが必要であることから、十分な議論を積み重ねながら、合意形成を図ったうえで、再編成計画を成案されたい。
- (2) スクールバスの運行にあたっては、基本方向である片道通学時間60分以内の短縮をはじめ、部活動における下校出発時間、休日の運行など、生徒の負担を増加させないための取り得る最善の方法によるきめ細かな対応を図られたい。また、教育委員会案の作成にあたっては、運行経路、時間、本数などの具体的なシミュレーションを示していただきたい。
- (3) 望ましい学校規模の基本方向にある免許外教員の解消、1学年2学級以上編成、男女共5種類以上の部活動組織に努められたい。
- (4) 一定の学校規模は必要であるも、生徒数のバランスのみならず、地域性や学区の歴史など地域理解を考慮した再編成に努められたい。
- (5) 中学校で行われている地域の郷土芸能伝承活動は、再編成後にあっても継承される学校運営を図られたい。
- (6) 再編成計画策定にあたっては、再編成後の新しい中学校が目指す学校運営の方向性、展望などを盛り込みながら、遠野教育の創造を目指していただきたい。
- (7) 答申後の教育委員会案を、当検討委員会は平成20年3月31日をもって解散されるが、是非示されたい。